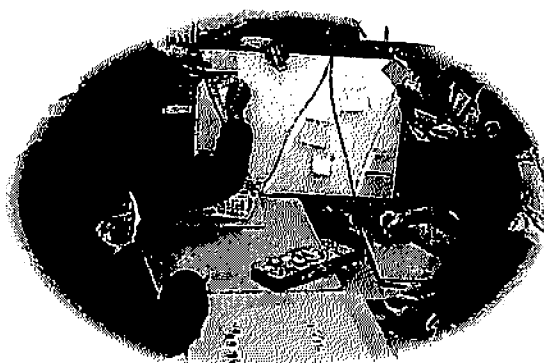
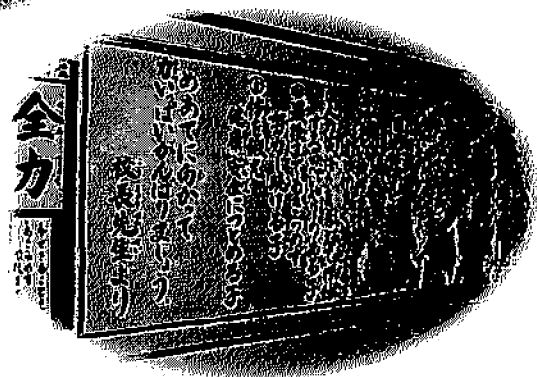
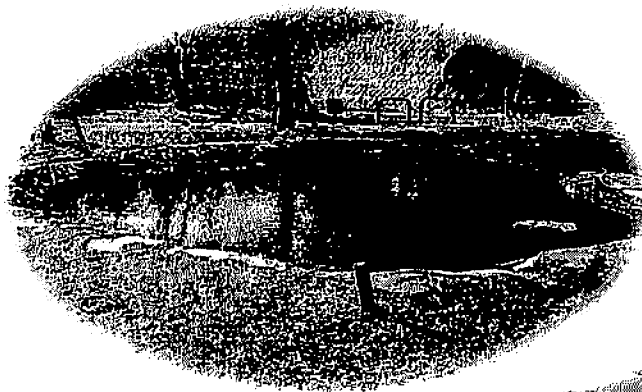


研究主題

「学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間」 ～思いをつなぐそめいのタイム～



平成29年8月17日
佐倉市立染井野小学校

山中 宣史
松澤 恵美子
竹中 智穂

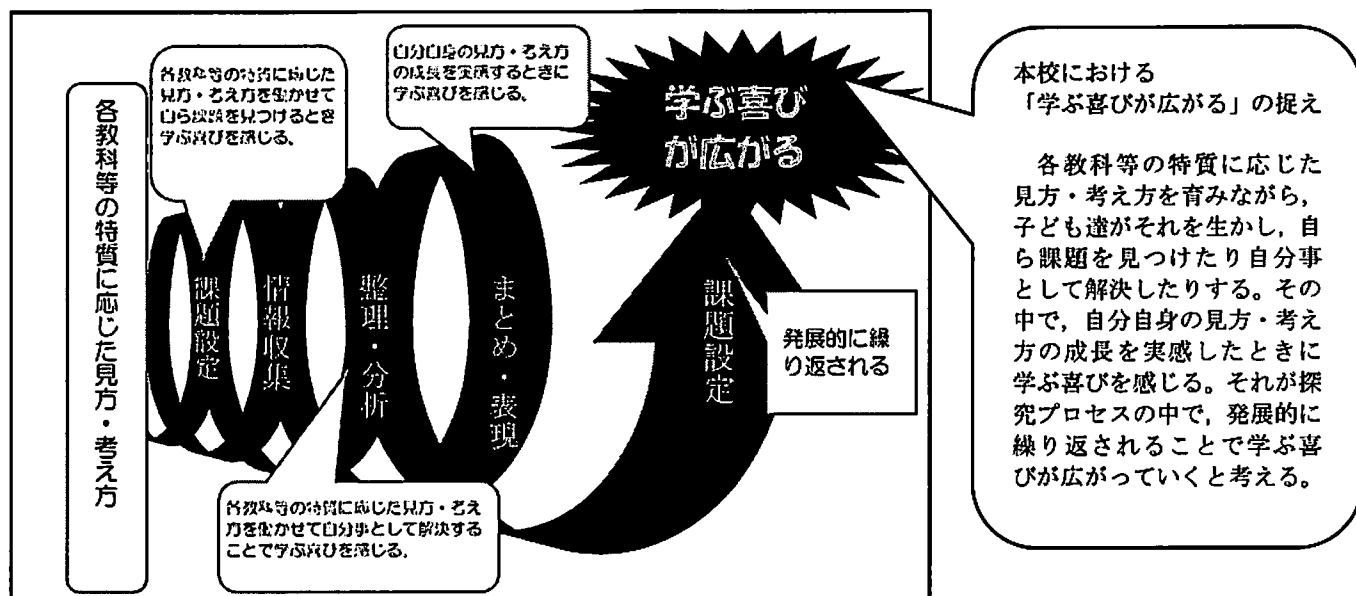
Contents

目次	2
I 研究主題	3
II 主題設定の理由	3
III 研究仮説	5
IV 実践例	6
(1) 子どもたちの思いをつなぐ	7
(2) 単元をつなぐ	8
(3) 教科をつなぐ	9
(4) 活動をつなぐ	10
(5) 現実をつなぐ	11
(6) 卒業生をつなぐ	11
(7) 理想と現実をつなぐ	12
(8) 地域をつなぐ	12
(9) 子ども同士をつなぐ	13
(10) 1年をつなぐ	14
V 成果と課題	15
VI その後	16
資料編	17
全体計画	18
スライド	19
他教科との関連	29
実習生からの手紙	30
卒業生コメント	32
学習指導案	34

I 研究主題

「学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間」

～思いをつなぐそめいのタイム～



II 主題設定の理由

1 今日的な教育課題から

近年、急速に進むグローバル化や高度情報化は、国際競争の激化をもたらしつつ、我が国の経済社会の構造を大きく変えている。子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就くとの予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高いなどの予測がある。また、2045年には人工知能が人類を越えるという指摘もある。こうした状況を踏まえると、今後、一人一人の可能性をより一層伸ばし、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育んでいくことが大切である。本校では、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力が育まれていくことに子ども達が喜びを感じられるような授業を目指し、本主題を設定した。

2 学校教育目標から

本校では、「夢をもち 進んで学ぶ 心豊かでたくましい児童の育成」という学校教育目標のもと、「まじめがいっぱい(夢をもつ)・笑顔がいっぱい(心の豊かさ)・やる気がいっぱい(たくましさ)」を目指す児童像として、日々の教育活動を実践している。その具現化を図るため、道徳教育の充実やわかる授業の実践に努めている。本校では2011年より3年間、「探究心を育て、自己を見つめる生活科・総合的な学習の時間」というテーマで研究に取り組んだ。その後2年間、生活科、総合的な学習の時間に培われた力を他教科に広げていくことができないかと模索し、生活科と理科についての研究を行った。昨年度は研究の中心を再び生活科と総合的な学習の時間とし、数年間取り組んできたことで見えてきた課題を改善しつつ、さらなる学校教育目標の具現化に向けて、発展的に研究を進めていけるよう本主題を設定した。また、主題と仮説については、チーム一丸となって取り組んでいけるように、共通したものとし、教科等の特質に合わせて具体的な手立てを考えながら研究を進めている。

3 地域や児童の実態から

本校は、平成11年度に開校し、今年で19年目を迎える学校である。本校の子どもたちは恵まれた環境のもと育てられている。校外には整備された施設や豊かな自然も多く、教育的にも好ましい環境で生活している。しかし、施設を活用したり自然や人と関わったりする経験が乏しい児童も多い。得た情報や知識が必ずしも体験や経験、主体的な問題解決を通して得た知識とは限らず、周りの雰囲気にあわせて学習し分かったつもりになっている場合も少なくない。自ら課題を見つけ主体的に課題を追究し、お互いの考えを認め合いながらそれを表現し合う学びの良さを実感できている児童は少ない。そこで、自ら課題を見つけ主体的に問題解決に取り組み、それを表現し合い深めていく学びの良さを実感できるようにするためには、さらなる授業改善を図り、子どもたちが学ぶことに喜びを感じられるようにする必要があると考え、本主題を設定した。

4 次期学習指導要領から

新しい時代に必要となる育成すべき資質・能力の三つの柱①「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）」②「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」③「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」が示された。新しい時代に必要となる資質・能力を育むためには、「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要である。育成すべき資質・能力を身に付けるために、主体的・対話的で深い学びの実現とそのため¹の指導の方法等を充実させていくことが求められる。一人一人が主体的に考え表現し合う中で学びが深められれば、児童はより自分事として学びをとらえることができ学ぶ喜びを感じられると考える。

次期学習指導要領に向けて、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するための主体的・対話的で深い学びの実現に向け、各教科等における学習対象を捉える視点や考え方を「見方・考え方」として整理している。子どもたちが学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせられるようにすることにこそ、教員の専門性が発揮されることが求められている。今後は、子どもたちがこの「見方・考え方」を自在に働かせられるような授業づくりが大切になってくる。総合的な学習の時間の見方・考え方は以下の通りである。

<総合的な学習の時間の特質に応じて育まれる見方・考え方>

各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせて、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の文脈や自己の生き方と関連付けて問い続けること

本校では、各教科等の特質に応じた見方・考え方を育みながら、子どもたちがそれを生かし、自ら課題を見つけたり自分事として解決したりする。その中で、自分自身の見方・考え方の成長を実感したときに学ぶ喜びを感じる。それが探究プロセスの中で、発展的に繰り返されることで学ぶ喜びが広がっていくと考える。

Ⅲ 研究仮説

仮説

探究的な学習の中で、一人一人が主体的に考え、表現し合えるような授業を工夫すれば、教科等の特質に応じた見方や考え方を身に付けたり活用したりすることができ、学ぶ喜びが広がるだろう。

手だて

【子どもたちが主体的に考えるための工夫】

- ① 発達段階に応じて日常生活や暮らしの中にある、身近な問題を取り上げ、児童が自分事として課題を設定できるようにする。
- ② 探究的な学習が発展的に繰り返されるような単元構成を工夫し、体験活動の充実を図るようにする。
- ③ 学習活動の見通しを明らかにし、学習活動のゴールとそこに至るまでの道筋を鮮明に描きやすくするようにする。
- ④ 振り返りの時間を学習活動の終末や途中で確保し、自らの学びを意味付けたり、価値付けたりして自己変容を自覚し、自分自身の成長や変容、学習履歴の高まりを実感できるようにする。

【表現し合うための工夫】

- ① 情報の質と量、再構成の方法などに配慮して具体的な学習活動や学習形態、学習環境を用意する。情報を可視化し、操作化する思考ツールを活用する。
- ② 一人一人が学習の見通しを持ったり、振り返ったりすることを大切にしながら協働的な学習を進める。

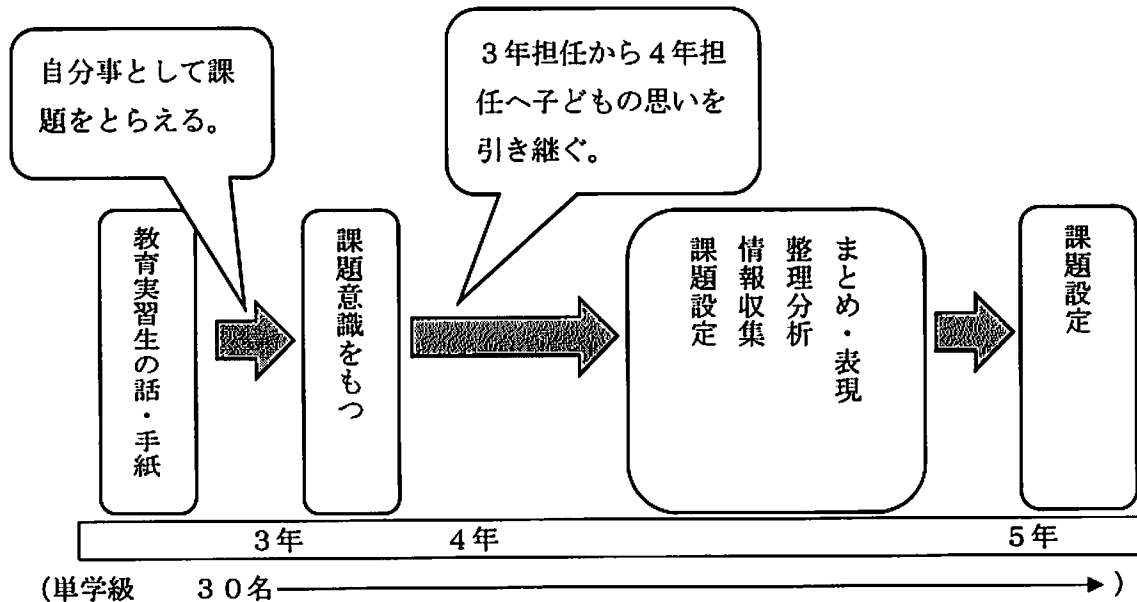
参考

- 1) 中央教育審議会：個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について（答申）2016
- 2) 中央教育審議会教育課程企画特別部会：論点整理 2015
- 3) 文部科学大臣 下村博文：初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）2014
- 4) 中央教育審議会：幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）2016
- 5) 中央教育審議会教育課程部会 生活・総合的な学習の時間ワーキンググループ 議論のまとめ（たたき台・イメージ）2016
- 6) 中央教育審議会教育課程部会：小学校部会資料 2016

IV 実践例

1 単元名 第4学年「それいけ！ぼくらのビオトープ！」

2 実践の全体像



3 仮説に対する具体的方策と実践

これまで、本学年では、年間を通して野草について学習していた。しかし、より子どもたちが自分事として課題を設定できるようにするため、本年度は子どもたちの思いや課題を取り上げ、新たな単元を設定し取り組むことにした。

子ども達の思いを実現するために、以下の10の「つなぐ」をポイントに学習を進めた。

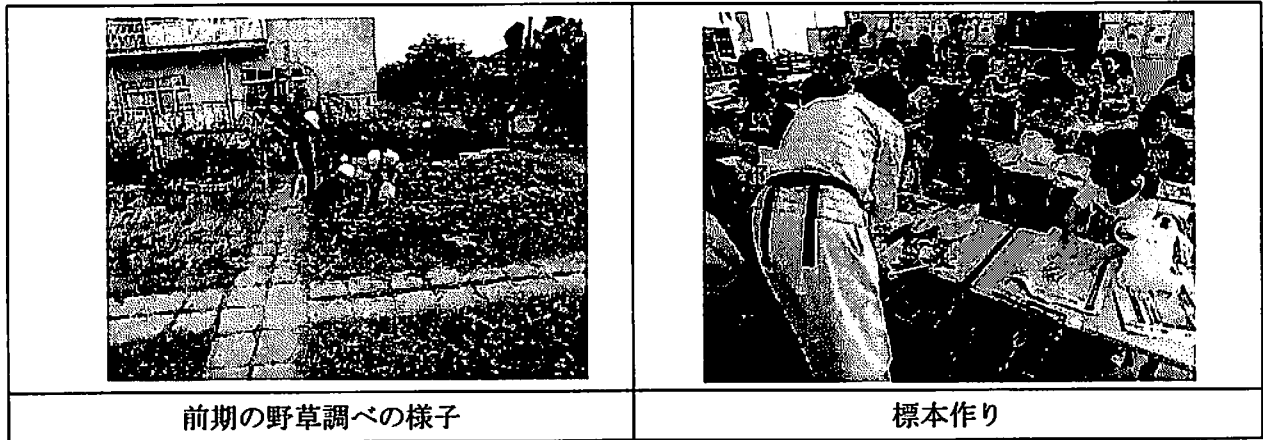
10のつなぐ

- (1) 子どもたちの思いをつなぐ
- (2) 単元をつなぐ
- (3) 教科をつなぐ
- (4) 活動をつなぐ
- (5) 現実をつなぐ
- (6) 卒業生をつなぐ
- (7) 理想と現実をつなぐ
- (8) 地域をつなぐ
- (9) 子ども同士をつなぐ
- (10) 一年をつなぐ

(2) 単元をつなぐ。

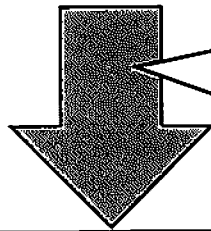
手だて【子ども達が主体的に考えるための工夫】①

4年生に入っても子ども達のビオトープへの関心は高く、ビオトープの雑草抜きを学級児童に呼びかけ、休み時間を使い率先して行っていた。単元のつながりを考え、担任として後期からビオトープの学習に入ることを計画した。



前期の野草調べの様子

標本作り



「今度は見たことのない野草について、調べたい。」「陸の植物を調べたが、今度は水生植物を調べたい。」「ビオトープに生息する野草や植物、生き物について調べてみたい。」

ビオトープを復活させよう！

年間活動計画

4年 総合的な学習の時間 年間活動配列表											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
わたしたちのふるさと染井野の自然 (70時間)											
みんな野草探検隊 (35)						それいけ!ぼくらのビオトープ! (35)					
<ul style="list-style-type: none"> ①第2グラウンドに行き、春の野草観察を行う。(2) ②野草カードを使ってゲームをする。(2) ③野草マップを作る。(10) ④気になる植物を調べる。(5) ⑤発表資料を作る。(10) ⑥野草の会の方を招き発表会をする。(2) ⑦野草の会の方を招き標本をつくる。(2) ⑧これまでの活動を振り返り、これから課題を調べる。(2) 						<ul style="list-style-type: none"> ①前期までの活動を振り返りながら、後期の学習内容を話し合い、単元の目標を設定する。(2) ②博物館の方や卒業生の話を聞いてビオトープについての知識を深める。(2) ③ビオトープについての話をもとに、現在のビオトープの課題を明確にし、できることを考える。自分が調べるテーマを決め、課題探究の計画を立てる。(4) ④計画に従って課題についての情報を集める。ビオトープを観察したり、資料やインターネット等で調べたりする。(10) ⑤同じ課題ごとのグループに分かれ、自分が調べた情報について思考ツールを用いながら整理する。整理した情報から分かったことをまとめる。(4) ⑥同じテーマごとのグループで、調べたことをまとめる。(6) ⑦まとめたことを発表する。(2) ⑧これまでの学習の振り返りをし、今後に生かす。(5) 					
<p>「見たことのない野草」 「水生植物」 「ビオトープに生息する野草や植物」</p>											
<p><見学先・時期・(交通機関)> ○第2グラウンド・里山(徒歩) ○佐倉野草会</p>						<p><人材活用・協力団体> ○里山の会 ○千葉県立博物館 ○卒業生(3年時教育実習生)</p>					

(4) 活動をつなぐ。

手だて【子ども達が主体的に考えるための工夫】②

H28 そめいのタイム ユニット別 活動計画

4年

ユニット名	それいけ！ぼくらのビオトープ！	活動時数	35
-------	-----------------	------	----

育てたい力	問題を設定する力	・ビオトープの現状に関心を持ち、自分の課題を設定することができる。
	問題を解決する力	・観察したり調べたりする活動を通して、自分の課題にあった情報を収集し、解決するために計画的に活動を進めることができる。
	主体的・創造的・共同的な態度	・友だちと積極的に意見を交換し、異なる視点や考え方から自身の学びを深めることができる。
	自己の生き方	・学習を通して、自然環境に関心をもったり、人とのつながりに気付いたりすることができる。 ・学んだことを振り返りこれからの自身の生活に生かすことができる。

課程	主な学習活動
課題設定 8	<ul style="list-style-type: none"> ○前期までの活動を振り返りながら、後期の学習内容を話し合う。 ○単元の目標を設定する。 ビオトープ復活！ ○千葉県立中央博物館の林さんの話を聞き、ビオトープについて知る。 ○卒業生の田中さんの話を聞き、昔のビオトープについて知る。 ○理想とするビオトープについて情報を整理する。 ○ビオトープについての話をもとに、現在のビオトープの課題を明確にし、できることを考える。 ○自分が調べるテーマを決める。 ○課題探究の計画をたてる。
情報の収集 10	<ul style="list-style-type: none"> ○計画に従って課題についての情報を集める。 ○ビオトープを観察したり、資料やインターネット等で調べる。 【課題例】 ①水生植物について ②危険な動植物について ③植物プランクトンについて ④動物プランクトンについて ⑤生態系について ⑥水の管理について ⑦生き物の棲み処
分析 4	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ課題ごとのグループに分かれ、自分が調べた情報について思考ツールを用いながら整理する。 ○整理した情報から分かったことをまとめる。
表現 13	<ul style="list-style-type: none"> ○同じテーマごとのグループで、調べたことをまとめる。 ○まとめたことを発表する。 ○単元を通じた学習の振り返りをし、今後に生かす。

理科 「季節と生き物」
国語科 「写真をもとに話そう」
「よりよい話し合いの仕方を考えよう」

理科 「季節と生き物」
国語科 「図書館へ行こう 分類をもとに本を見つけよう」

理科 「季節と生き物」
国語科 「写真をもとに話そう」
「よりよい話し合いの仕方考えよう」

理科 「季節と生き物」
国語科 「課題にそって報告文を書こう」
「学級新聞を作ろう」
「ぶんたんして図かんを作ろう」
「話の組み立てを考えて、発表しよう」
算数科 「折れ線グラフと表」

(5) 現実とつなぐ。(課題設定)

手だて【子ども達が主体的に考えるための工夫】③

単元の導入では、ビオトープのイメージについて話し合いを行った。そこでは「雑草が多い。」「汚い。」「生き物が住める環境が整っていない。」「なにがあるのかよくわからない。」などのマイナスなイメージが多くあがった。さらに、千葉県立中央博物館の林さんをゲストティーチャーとして招き、ビオトープについて教えていただく時間を設けた。

<p>ビオトープのイメージ</p>	<p>千葉県立中央博物館の林さんとの授業の様子</p>

「生き物のフンなどの有機物がバクテリアに分解されて肥料分になり、その肥料分がアオコのような植物プランクトンや水草に吸収され、植物プランクトンをミジンコなどの動物プランクトンが食べる。さらにそれを生き物が食べる。このようなサイクルが生態系のバランスを保っており、生き物をむやみに入れたりするとそのバランスが崩れてしまう恐れがあるので、生き物が来るのを待つことが大切！

(6) 卒業生とつなぐ。(課題設定)

手だて【子ども達が主体的に考えるための工夫】③

卒業生（3年時の教育実習生）の田中さんをゲストティーチャーとして招き話していただいた。ビオトープができたころの話、復活させることを聞いたの卒業生や当時の先生方の話しを聞かせていただいた。

<p>卒業生（3年時の教育実習生）の田中さんとの授業の様子</p>	<p>当時（17年前）のビオトープの様子</p>

17年前の6年生が新しい学校に何かを残したいということでビオトープ作りが始まりました。

当時はヤゴやめだか、カナダモ、浮草・・・などで生き物がにぎわいを見せていた。

<p>当時（17年前）知るの卒業生からのコメント</p>	<p>当時（17年前）の先生からのコメント</p>

ビオトープを復活させることは卒業生からしてとてもうれしいことです。

私たちが残してきたビオトープを通して、自分達でできる小さなことから染井野の街をきれいに、守っていかけることを期待しています。

消防署や警察署などを守る人たちがいるんだということが、かみみなさんにも町を守れることが、うれしいです。私たちが残してきたビオトープを通して、自分達でできる小さなことから染井野の街をきれいに、守っていかけることを期待しています。

(7) 理想と現実をつなぐ。(課題設定)

手だて【表現し合うための工夫】①

これまでの学習で、ある程度ピオトープに対する知識や見方を身に付け、当時の卒業生などの思いを知ることができた。しかし、その中で、生き物を放したり生き物の棲み処を作ったりする学習をイメージしていた児童にとっては、思いにずれが生じていた。そこで理想と現実をつなぎ、本来のピオトープの定義とは異なってしまっても、卒業生の思いを受けながらそこに自分たちの思いをのせ、自分達らしいピオトープを創り上げていくというように舵取りを行った。

KJ法でまとめた掲示物。
青→林先生からの情報
黄色→田中さんからの情報
ピンク→自分たちの思い

理想と現実を比較する際に客観思考ができるように作った間違い探しのような仕掛け。

テーマを考える際には、「理想・現状・テーマを関連させて視覚化するために用いたYチャート。

(8) 地域とつなぐ。(情報収集)

手だて【子ども達が主体的に考えるための工夫】②

学校のうらにある里山に湧き水を生かしたピオトープがあるということを知り、里山の会の方に協力をしていただき、里山のピオトープについて調べた。学年だよりや懇談会を使って、活動をアピールした。



里山のピオトープ調査



里山からもらってきた木材を使いピオトープに続く道の修復

テーマごとの活動



グループごとに集めた情報を、整理・分析する様子

グループ

- 水係
- 巣係
- 植物係
- 生き物係
- 制作係
- 清掃係

調べてまとめたことを伝える。

係	発表の内容と結果
水係	「塩素を含まない水をどこから供給するか。」について調べていく中で、防災井戸の水が使えるということを知り、防災井戸の水の出し方を実演。また、水の循環の大切さについてパワーポイントを用いて他のグループに伝えた。
清掃係	ビオトープを清掃する際の注意点や清掃の仕方について劇で発表。清掃の仕方を広めた。
生きものの係	ビオトープに適した生き物を調べ、模造紙にまとめ、どんな生き物を入れるかを提案。賛成が得られ、生き物を入れた。
植物係	生き物を呼ぶためにビオトープの近くに植物を植えられるかを模造紙を使ってまとめ提案。日当たりや地質から心配もあったが、やってみようということで、植物を植えた。
巣係	ビオトープ近くに鳥を呼び寄せるために、巣箱を設置しどうなったか経過を、パワーポイントを使って報告する。ホオジロやハトが近くに来るようになったことを伝えた。
制作係(柵)	周りに柵をつけることを提案。里山の木材をもらってことや安全面についてアピールするも、人工的になってしまうなどの理由から賛同が得られなかった。その後、里山の木材の別の利用法を考えた。
制作係(橋)	はじめビオトープに橋を架けることを提案。原材料や金額等詳しく調べ提案するも、全体で話し合った結果断念。代わりに、ビオトープに続く道を復活させようということで、再度提案。学級の賛成が得られたので校長先生に提案し、許可を得た。
制作(柵・橋)	最終的に、里山の木材がいただけることになり、それをを用いてビオトープに続く道の修復を行った。

(10) 1年をつなぐ。(まとめ) 手だて【表現し合うための工夫】②

最後にまとめとしてこれまでの活動を振り返り、さまざまな形でまとめました。

パンフレットにまとめる

紙芝居風にまとめる

それいけ
ぼくらのピオトープ

子どもがつくった歌

ピオトープテーマ曲

それいけぼくらのピオトープ
世界に一つだけの花バージョン

1. 十月に田中先生と出会った
一カ月があっという間の最終日
二人でピオトープに来たね
田中Tはこう言った
「あ なつかしいピオトープだ えのもとくん ふっかつさせてよ」
ぼくの心に軽く火がついたんだ
復活させてみようかな
次の日に松澤T校長Tに相談したよ
えのひろ委員会を立ち上げた
※そうさぼくらは ありがとう ありがとう
ありがとう 田中ティーチャーと先生たち
いまの いまの いまの いまの
ピオトープよろこんでいるよ (※2回繰り返す)

2. 四年生になった僕たち
そういえば前期野草の授業もやったね
そしてあっという間の後期
ピオトープが総合の授業になった
そしていまがある
あのときぼくがピオトープにいなくて田中Tが
こんなことを話していなかったら
※そうさぼくらは 世界に一つだけのピオトープ
染井野小だけのピオトープ
そのピオトープを復活させるだけに
一生懸命になればいい
ちいさな気持ちやいっぱい仲間
一つとして同じものはないから
ナンバーワンにならなくてもいい
もともと特別なオンリーワン

新聞にまとめる

染井野小ピオトープ
三年間の流れ

ピオトープ復活へ

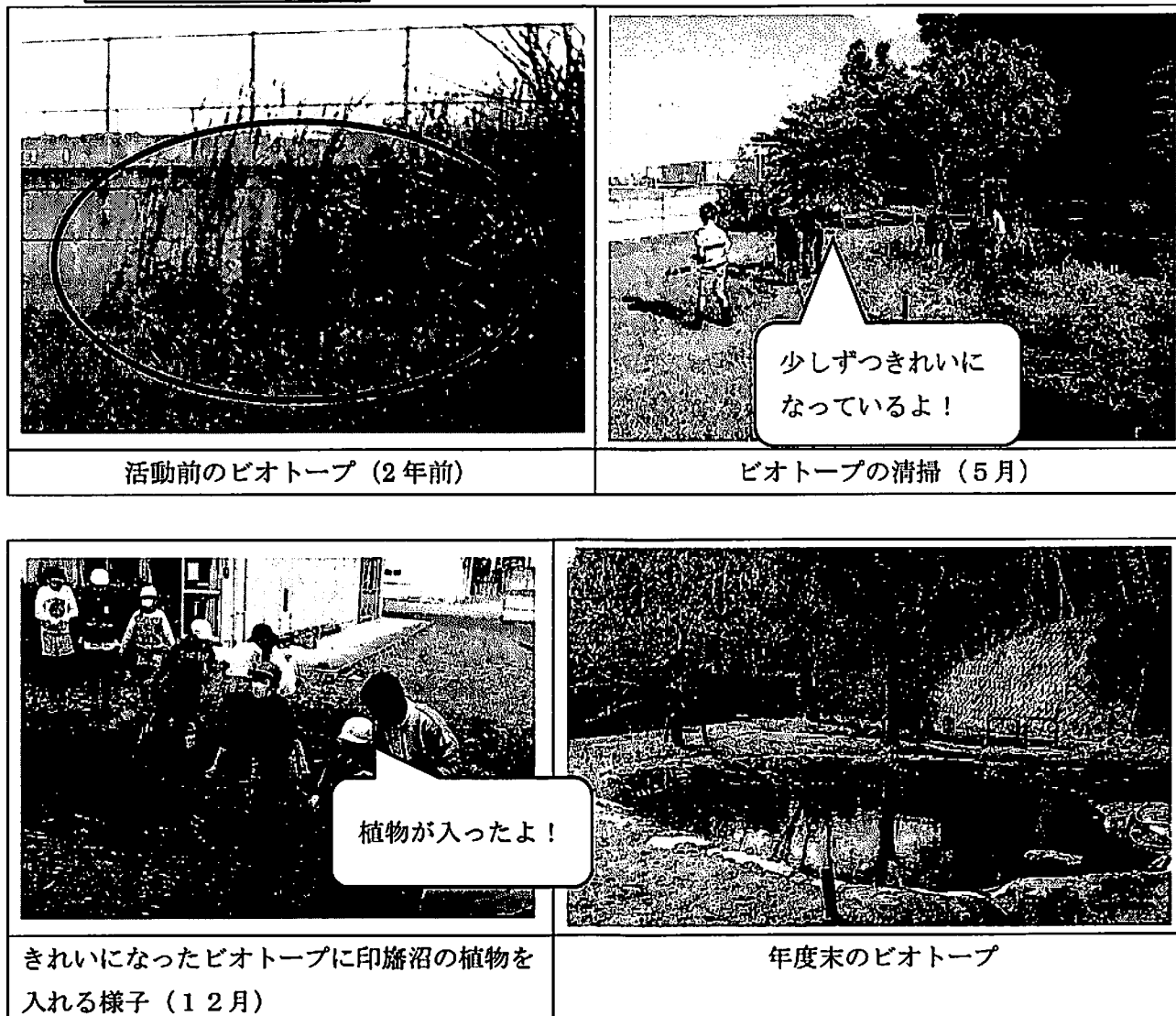
すごろくにまとめる

V 成果と課題

(○成果 △課題)

- 子どもたちの思いや課題を取り上げ、新たな単元を設定し取り組んだことで、子どもたちが自分事として課題をとらえることができた。また、単元や活動のつながりを考えたことで、学習の成果が見えるにつれて、子ども達の学ぶ喜びが広がっていった。
- 単元や教科をつなげ計画を立てたことで、指導者が各教科で身に付けた力を使う場面を意識でき、子ども達が持っている力を効果的に使い学習に生かすことができた。
- 思考ツールを用いたことで、拡散した子ども達の情報が整理され視覚化されただけでなく、子ども同士の学びをつなぐ役割を果たし、考えを深め、広げることができた。
- 活動の成果が表れていくにつれ、「ここもこうしたい」という思いが広がっていった。
- △ビオトープに対する知識を身に付けていくにつれて、生き物を放したり生き物の棲み処を作ったりする学習をイメージしていた児童にとっては、思いにずれが生じ始めた。そこで卒業生の思いを受けながらもそこに自分たちの思いをのせ、自分達らしいビオトープを創り上げていくというように舵取りをしたので、本来のビオトープの定義とは多少異なったもの（生き物を放すという点で）になってしまった。

ビオトープの移り変わり



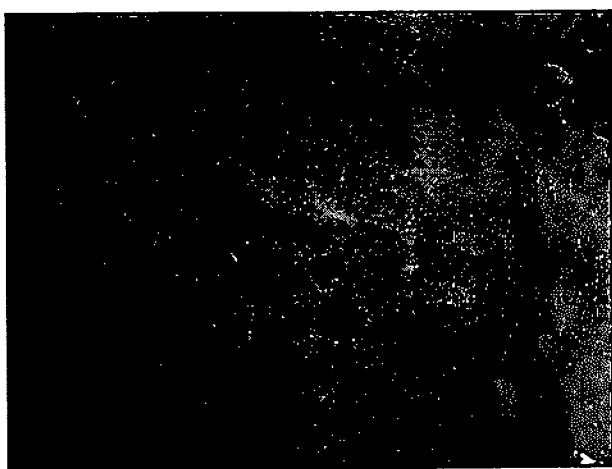
VI その後

5年時（H29年度）の様子

4月当初，児童に次のような質問をした。

「ビオトープは復活したのか？」

ほとんどの児童が，まだ復活したとは言えないという趣旨の回答を返した。そこで，どうなったらビオトープが復活したといえるのかを考えてみた。そして，①動物，②植物，③観察者（人間）この3つが定着すれば，ビオトープが復活したといえるのではないかと考え，前期は特にこの中の③に力を入れることにした。ビオトープに動物や植物が戻っても，それを観察しにくる人間がいないといけない。そのためにかつて整備されていた木道を復活させようと考え，昨年に引き続き里山の会の横山さんにご協力いただき作業を進めている。



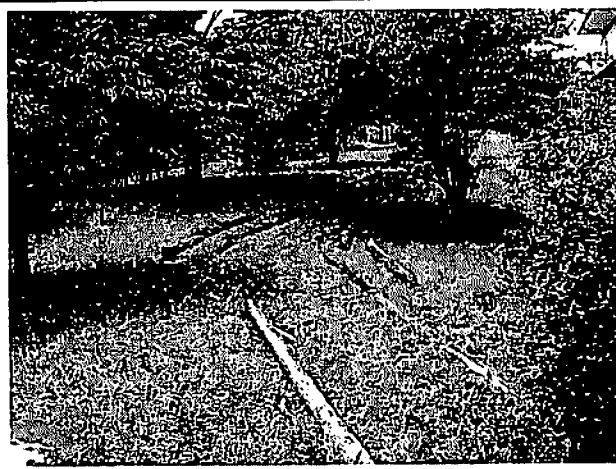
春，ビオトープで泳ぐたくさんのおたまじゃくし



里山の丸太運びの様子



里山からの丸太運びの様子



古い丸太を掘り起こし埋められた新しい丸太

第67次印旛地区教育研究会 総合的な学習研究部

資料編

「学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間」

～思いをつなぐそめいのタイム～

総合的な学習の時間全体計画

佐倉市立染井野小学校

<p><児童の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な児童が多い。 ・主体的な行動や人とのかかわりが不十分である。 	<p><学校教育目標></p> <p>「夢をもち進んで学ぶ心豊かでたくましい児童の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まじめがいっぱい(よりよい生き方) ○笑顔がいっぱい(心の豊かさ) ○やる気がいっぱい(たくましさ) 	<p><地域の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備された環境や豊かな自然が多い。 ・保護者や地域の人は、協力的である。
---	--	---

<そめいのタイム>

身近な地域の自然や社会についての探究的な学習を通して、自ら対象に働きかけて課題を見つけ、仲間と協力しながら、主体的・創造的・協同的に課題を解決しようとするとともに、地域の人とのかかわりを通して自己の生き方を考えようすることができる。

	<p>中学年 (3・4年)</p>	<p>高学年 (5・6年)</p>
<p>学習方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の特徴に気づき、地域や人と関わることを通して、自分の問題をもつことができる。 ・必要な情報を収集・分析しながら課題を解決し、自分の考えや新たな課題をもつことができる。 ・相手の目的に応じてわかりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の見通しのある価値ある自分の問題をもつことができる。 ・適切な方法で情報を収集・選択し、多様な視点から課題を解決し、自分の考えや新たな課題をもつことができる。 ・相手や目的に応じて、自分の考えをわかりやすく効果的に伝えることができる。
<p>自分自身</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、自己の成長や良さに気づくことができる。 ・学んだことを自分の生活に生かしていこうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の内面や価値観の変容を振り返り、自己肯定感をもつことができる。 ・学んだことを自分の生活や生き方と結びつけて考え、生き方に生かしていこうとする。
<p>社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いを通して、異なる意見や他者の考えがあることを理解することができる。 ・他者と協力して課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の様々な考えや行動を認め、共感的に受けとめることができる。 ・他者と協力して課題を解決することができる。

	<p>3年</p>	<p>4年</p>	<p>5年</p>	<p>6年</p>
<p>学年</p>	<p>3年</p>	<p>4年</p>	<p>5年</p>	<p>6年</p>
<p>学習活動案</p>	<p>佐倉のじまんを見つけよう</p>	<p>私たちのふるさと染井野の自然</p>	<p>印旛沼 新発見！</p>	<p>佐倉に生きる！</p>
<p>学習対象</p>	<p>地域の自然や歴史、産物など</p>	<p>地域の自然・野草</p>	<p>印旛沼の自然や環境</p>	<p>地域の歴史や自然、仕事</p>
<p>学習事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そめいののじまをみつけよう ・佐倉のじまをみつけよう ・佐倉のじまかるたをつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の野草 ・校庭の野草、植物の冬越し、種子の運ばれ方、植物標本の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物と沼の汚れの関係、沼と川のつながり、自分たちの生活との関わり ・環境保全の大切さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉の歴史人物の業績 ・仕事に携わっている人の思いや願い

<p><指導方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然、社会、人と効果的に出会わせ、主体的に地域とかかわりながら探究活動を展開し、他者と協力して課題を解決していくようにする。 ・各教科、領域との関連を図った指導の工夫に努める。 	<p><学校の評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの評価規準を設定し、指導と評価の一体化を図る。 ・評価カードを作成し、数値と記述による自己評価、相互評価を行っていく。 ・ポートフォリオを作成し、連続性のある評価の充実を図り、児童の変容を見取る。 ※作成した資料は、積極的に作品展やコンテストに出していく。 	<p><指導体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO、野草の会、環境事業、郷土史研究家など地域教育力の情報を集め、人材リストを作成し、活用する。 ・担任外の教職員による支援体制及び保護者による協力体制の確立を図る。 ・学年を中心とし、単元の改善を図る。
---	---	--

学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
 ～思いをつなぐそめいのタイム～ スライド

研究主題

**学ぶ喜びが広がる
総合的な学習の時間**

～思いをつなぐそめいのタイム～

佐倉市立染井野小学校

学校紹介

- ・佐倉市西部の緑豊かな住宅街
- ・開校19年目
- ・児童数240名12学級を26名の職員で指導
- ・合言葉は「全力」

学校紹介

I 研究主題 学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
 ～思いをつなぐそめいのタイム～

各教科等の特質に応じた
見方・考え方を育む

自ら課題を見つけるとき学ぶ喜びを感じる

自分自身の見方・考え方の成長を実感するときに学ぶ喜びを感じる

発展的に繰り返される

自分事として解決することで学ぶ喜びを感じる

“学ぶ喜びが広がる”の捉え

探究プロセス

各教科等の特質に応じた見方・考え方を育む

自ら課題を見つけたり、自分事として解決する

自分自身の見方・考え方の成長を実感する

学ぶ喜び

発展的に繰り返される→学ぶ喜びが広がっていく

II 主題設定の理由

- ▶ 1 今日的な教育課題から
- ▶ 2 学校教育目標から
- ▶ 3 地域や児童の実態から
- ▶ 4 次期学習指導要領から

II 主題設定の理由
 1 今日的な教育課題から

- ▶ 今日的な課題
 - ▶ 経済社会の構造の変化
 - ▶ 仕事の自動化
 - ▶ 人工知能が人類を超える
- ▶ 今後
 - ▶ 一人一人の可能性をより一層伸ばす
 - ▶ 生きる上で必要な資質・能力を確実に！
- ▶ 本校では・・・

子どもたちが喜びを感じられるような授業を目指す

II 主題設定の理由
 2 学校教育目標から

**夢を持ち 進んで学ぶ
 心豊かでたくましい児童の育成**

- ▶ 目指す児童像
 - ▶ まじめがいっぱい (夢を持つ)
 - ▶ 笑顔がいっぱい (心の豊かさ)
 - ▶ やる気がいっぱい (たくましさ)

道徳教育の充実 わかる授業の実現

本校の研究

年次	研究テーマ
2011年～2013年	生活科・総合的な学習の時間
2014年～2015年	生活科・理科→他教科へ広げる
2016年～	学ぶ喜びが広がる 生活科・総合的な学習の時間

II 主題設定の理由
 3 地域や実態の実態から

- ◎ 校外には整備された施設や自然が多く、教育的に好ましい環境
- ▲ 体験や経験を通して得た知識とは限らない

↓

子どもたちが学ぶことに喜びを感じられるよう
授業改善が必要

II 主題設定の理由
 4 次期学習指導要領から
 ～新しい時代に必要となる育成すべき資質・能力の3つの柱～

- ▶ 生きて働く「知識・技能」
- ▶ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- ▶ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

II 主題設定の理由
 4 次期学習指導要領から

①何を教えるか
 知識の質や量の改善

②どのように学ぶか
 学びの質や深まり

主体的・対話的で深い学びの実現

II 主題設定の理由
4 次期学習指導要領から
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

▶子どもたちが学習や人生において
「見方・考え方」を自在に働かせられる
ようにする授業づくり

↓

教員の専門性の発揮

II 主題設定の理由
4 次期学習指導要領から
～総合的な学習の時間の特質に応じて育まれる見方・考え方～

▶各教科等における「見方・考え方」
を総合的に働かせて、広範な事象を
多様な角度から俯瞰して捉え、実社
会や実生活の文脈や自己の生き方と
関連付けて問い続けること

III 研究仮説

探究的な学習の中で、一人一人が主
体的に考え、表現し合えるような授業
を工夫すれば、教科等の特質に応じた
見方や考え方を身に付けたり活用した
りすることができ、学ぶ喜びが広がる
だろう。

手立て
1. 子ども達が主体的に考えるための工夫

- ① 自分事として課題設定
- ② 体験活動の充実
- ③ 学習活動のゴールへの道筋
- ④ 自身の成長や変容を実感

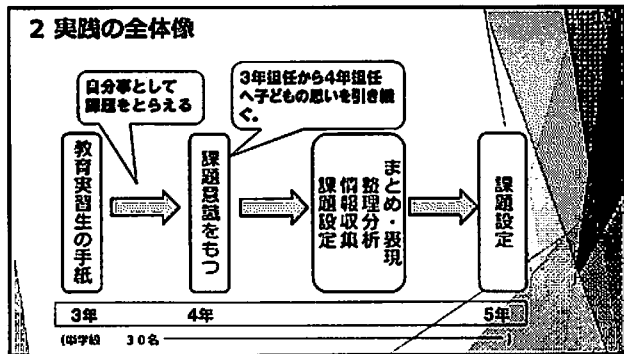
手立て
2. 表現し合うための工夫

- ① 情報を可視化、操作化する思考ツールの活用
- ② 協働的な学習

IV 実践例

第4学年（単学級 児童数30名）

単元名
それいけ！ぼくらのビオトープ



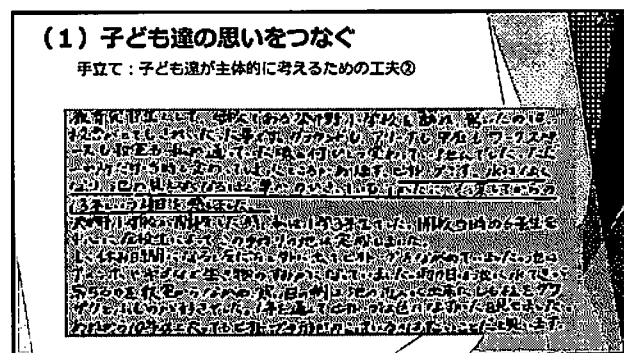
3 仮説に対する具体的方策と実践

- ▶ これまで
野草について学習（年間を通して）
- ▶ 本年度
子どもたちの思いや課題を取り上げ、
新たな単元を設定

自分事として課題をとらえる

*子ども達の思いを実現するための「10のつなぐ」

- ### 「10のつなぐ」
- | | |
|-------------|-----------|
| (1) 子ども達の思い | (6) 卒業生 |
| (2) 単元 | (7) 理想と現実 |
| (3) 教科 | (8) 地域 |
| (4) 活動 | (9) 子ども同士 |
| (5) 現実 | (10) 一年 |



子どもたちが作成した学級児童へ呼びかけるスター

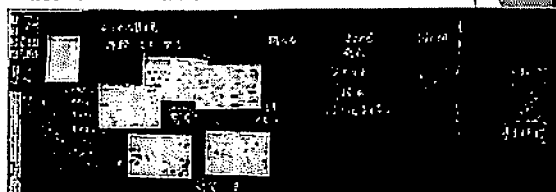
3-1 美化活動

大先輩が作った池を復活させたい！
協力をお願いします！

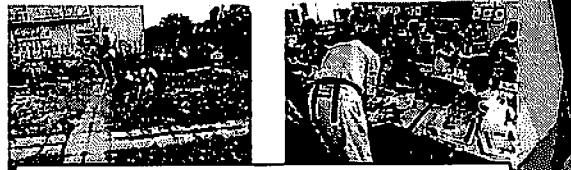
ごうんく
おねがいします！

4年前期
「わたしたちのふるさと染井野の自然」

▶前担任による授業



(2) 単元をつなぐ
手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫①



前期の活動の様子

(2) 単元をつなぐ
手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫①

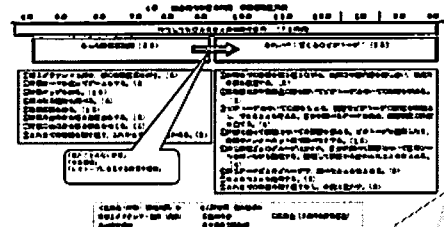
前期の振り返り

「今度は見たことのない野草について調べたい。」
「今度は水生植物を調べたい。」
「ビオトープに生息する野草や植物、生き物について調べてみたい。」

↓

ビオトープを復活させよう！

(2) 単元をつなぐ
手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫①



(2) 単元をつなぐ
手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫①

単元目標

- ・ビオトープの現状に関心を持ち、自分の課題を設定することができる。
(課題を設定する力)
- ・観察したり調べたりする活動を通して、自分の課題にあった情報を収集し、自分の課題を解決するために計画的に活動を進めることができる。
(問題を解決する力)
- ・女だちと積極的に意見を交換し、異なる視点や考え方から自身の学びを深めることができる。
(主体的・創造的・協同的な態度)
- ・学習を通して、自然環境に関心をもったり、人とのつながりに気付いたりすることができる。
- ・学んだことを振り返りこれからの自身の生活に生かすことができる。
(自己の生き方)

(2) 単元をつなぐ
手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫①

「前期の振り返りと後期に向けて」の話し合いにおける子ども達の振り返り

- ・今までやってきたことを振り返ってみるとたくさん努力したんだと思いつけた。学んだことを次のビオトープの学習に生かしたい。
- ・ビオトープのことに決まったので、ビオトープをきれいにできるように頑張りたいです。
- ・ビオトープをすごくきれいにしたいという気持ちがわいてきて楽しみです。
- ・次なる課題に向けて、自分ができることを全力でやりたいです！

学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
 ～思いをつなぐそめいのタイム～ スライド

(3) 教科とつなぐ
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫②

教科別学習計画表

教科	1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期
国語	1	2	3	4	5	6
算数	1	2	3	4	5	6
理科	1	2	3	4	5	6
社会	1	2	3	4	5	6
総合的な学習の時間	1	2	3	4	5	6
体育	1	2	3	4	5	6
音楽	1	2	3	4	5	6
外国語	1	2	3	4	5	6
道徳	1	2	3	4	5	6
特別活動	1	2	3	4	5	6
家庭科	1	2	3	4	5	6

(4) 活動をつなぐ
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫②

活動別学習計画表

活動	1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期
1	1	2	3	4	5	6
2	1	2	3	4	5	6
3	1	2	3	4	5	6
4	1	2	3	4	5	6
5	1	2	3	4	5	6
6	1	2	3	4	5	6
7	1	2	3	4	5	6
8	1	2	3	4	5	6
9	1	2	3	4	5	6
10	1	2	3	4	5	6

(5) 現実とつなぐ (課題設定)
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫③

種類が多い！
 汚い！
 生き物が住める環境が整っていない。
 なにがあるのかよくわからない。

ビオトープのイメージ

(5) 現実とつなぐ (課題設定)
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫③

「ビオトープは・・・生き物をむやみに入れたらすると生態系のバランスが崩れてしまう恐れがあるので、生き物が来るのを待つことが大切」

復活させるための学習をしたいという子ども達の思いとのズレ

(6) 卒業生とつなぐ (課題設定)
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫③

17年前の6年生が新しい学校に何かを残したいということでビオトープ作りが始まりました。

卒業生（3年時の教育実習生）の田中さんとの授業の様子

(6) 卒業生とつなぐ (課題設定)
 手立て：子どもたちが主体的に考えるための工夫③

ヤゴやめだか、カナダモ、浮草・・・などで生き物がにぎわいを見せていた当時のビオトープ。

学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
 ~思いをつなぐそめいのタイム~ スライド

(9) 子ども同士をつなぐ (まとめ・表現)
 手立て: 表現し合うための工夫④

生きもの標のまとめ

標の裏のまとめ

(9) 子ども同士をつなぐ (まとめ・表現)
 手立て: 表現し合うための工夫④

標の裏のまとめ

ネオジロについて

巣箱などを設置してどうなったか

巣箱などの設置場所

まとめ

(9) 子ども同士をつなぐ (まとめ・表現)
 手立て: 表現し合うための工夫④

新作標のまとめ

標の裏のまとめ

標の裏のまとめ

～子どもの振り返り～
 みんなが沢山似た答えを探したり、
 みんなの意見を比べたり、共通点を見つ
 けたりと、みんなと力を合わせて頑張
 りました。沢山調べることができ、うれ
 しいです。

(9) 子ども同士をつなぐ (まとめ・表現)
 手立て: 表現し合うための工夫④

新作標のまとめ

ビオトープの道について

道の作り方

ビオトープ周辺遊歩道計画 1 (設計 1)

(10) 1年をつなぐ (まとめ)
 手立て: 表現し合うための工夫④

パンフレットにまとめる

紙芝居風にまとめる

ぼくらのビオトープ

(10) 1年をつなぐ (まとめ)
 手立て: 表現し合うための工夫④

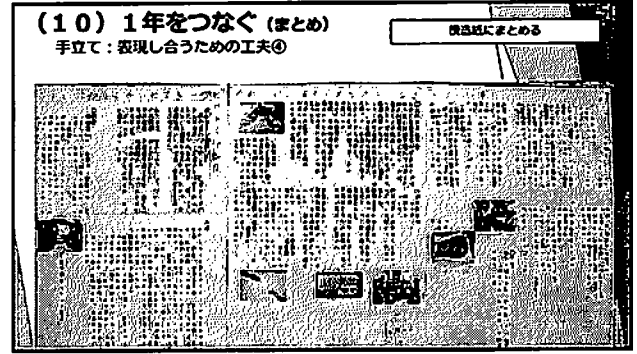
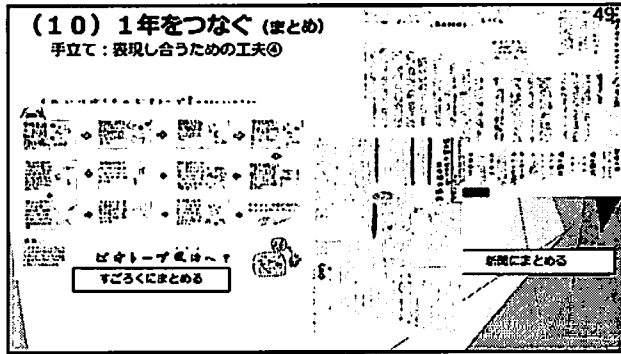
紙芝居を作ってまとめる

ビオトープテーマ曲

それいけぼくらのビオトープ
 (世界に一つだけの歌バージョン)
 1. 十月に田中先生と出会った
 一カ月があつたという頃の日
 二人でビオトープにまたね
 田中Tはこう言った
 「あ なつがしいビオトープだ スのそとくん
 らっかつさせてよ」
 びくの心に響くおぼけついたんだ
 聞きなせてみようかな
 次の日に田中Tは長丁に印刷したよ
 スのひろ葉員を立ち上げた
 田中さぶくらは ありがとう ありがとう
 ありがとう 田中ティーチャーと先生たち
 いまの いまの いまの
 ビオトープようこんでいるよ (※2回繰り返し)

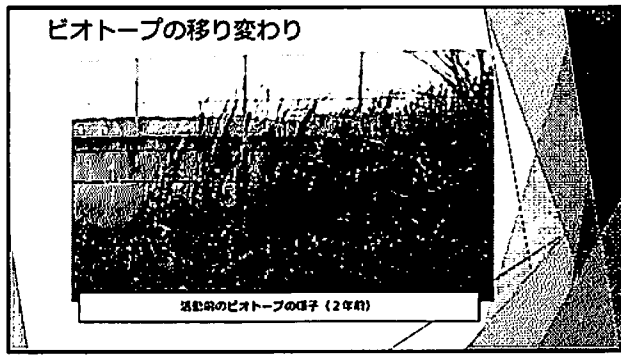
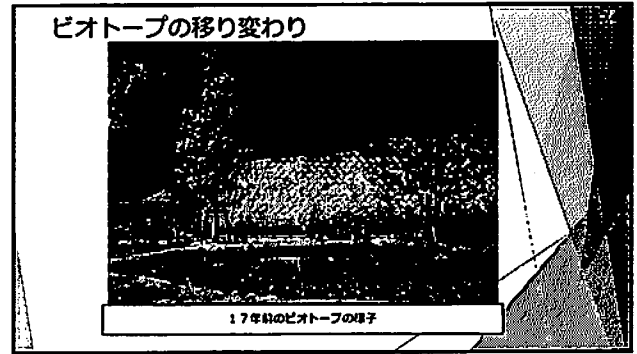
2. 四年生になつた僕たち
 そういえばお前日の頃にもやったよ
 そしてあつたという頃の日
 ビオトープがはるの設置になつた
 そしていまがある
 あのとをぼくがビオトープにいづくつて田中T
 こんどを話して聞かしたよ
 田中さぶくらは 世界に一つだけのビオトープ
 毎月お小町のビオトープ
 そのビオトープを保護させるために
 一生懸命になればいい
 ちいさな僕たちやいっしょの仲間
 一つとして同じものはないから
 アンパンマンにあらずなくていいから
 ちいさな僕たちやいっしょの仲間

学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
 ～思いをつなぐそめいのタイム～ スライド



V 成果と課題

- 子どもたちの思いや課題を取り上げ、新たな単元を設定し取り組んだことで、子どもたちが自分事として課題をとらえることができた。また、単元や活動のつくりかたを考えたことで、学習の成果が見えるにつれて、子ども達の学ぶ喜びが広がりました。
- 単元や教材をつなげ計画を立てたことで、指導者が各教科で身に付けた力を場面を意図できたことで、子ども達が持っている力を効果的に使い学習に生かすことができた。
- 思考ツールが子ども同士の学びをつなぐ役割を果たし、並置した子ども達の考え整理され視覚化されたことで思考が深まった。
- 活動の成果が表れていくにつれ、「ここもこうしたい」という思いが広がっていった。
- △ピオトープに対する知識を身に付けていくにつれて、生き物を放したり生き物たちをみねを作ったりする学習をイメージしていた児童にとっては、思いがずいぶん変わった。そこで卒業生の思いを受けながらもそこに自分たちの思いをのせ、自分達らしいピオトープを創り上げていくというように能取りをしたので、本来のピオトープの正體とは多少異なったもの（生き物を放すという点で）になってしまった。



学ぶ喜びが広がる総合的な学習の時間
～思いをつなぐそめいのタイム～ スライド



他教科との関連

第4学年

教科	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	言葉と出会おう 二 わかったことを説明しよう	花を見つけ手がかり 三 わかったことを説明しよう	心のスケッチをしよう 四 わかったことを説明しよう	漢字の広場2 五 わかったことを説明しよう	ハ、よりよい話し合いの仕方を考えよう 六 わかったことを説明しよう	漢字の広場3 七 わかったことを説明しよう	二 ぶんたんとて図かんを作ろう 八 わかったことを説明しよう	読書発表会1をしよう 九 わかったことを説明しよう	詩を演じよう 十 わかったことを説明しよう	六 ポスターを使って発表しよう 十一 わかったことを説明しよう	七 様子が変わるよ、言葉を選んで書こう 十二 わかったことを説明しよう
社会	4. くらしを守る ① 導入 1 火事からくらしを守る ① 火事だ！ 火事だ！ ② 学習の進め方 ③ 消防士へ行こう ④ 消防士の工夫 ⑤ 火事の現場で働く人	④ 火事がおきたら ⑤ まちの消防しげつをさがそう ⑥ 火事の協力 ⑦ 2 こまのしりとり利用 ⑧ こまを分ける ⑨ こま置き場の様子 ⑩ こまのゆえ	④ もやすこみのゆえ ⑤ もやすこみのゆえ ⑥ こまのしりとり ⑦ こまのしりとり ⑧ こまのしりとり ⑨ こまのしりとり ⑩ こまのしりとり	2 事故や事件からくらしを守る ① あぶない ② 事故がおきたら ③ 自転車のきまり ④ けいせつ仕事 ⑤ 安全なまちづくり ⑥ まちの安全マップをつくらう ⑦ 学習のまとめ	5. 住みよい暮らしをつくる ① 導入 1 かはごころ ② 体のまわり水と水不足 ③ わたしたちが使う水の量 ④ じや口のの水が通る道 ⑤ きれいな水をつくるために ⑥ 安全であらゆる水をつくるために ⑦ 自然環境をさがそう	① 水のあるところを調べてみよう ② きれいな川をつくるために ③ 大規模な水のため池 ④ 6. さよう上を歩く ① 1 現代都市の計画 ② 自然環境 ③ 自然環境 ④ 自然環境 ⑤ 自然環境 ⑥ 自然環境 ⑦ 自然環境	② 資料を見て調べる ③ 自然の恵み、後世の人々の恵み ④ 宇宙について調べる ⑤ 広がる夜空の星 ⑥ 日本地図を作った伊豆半島 ⑦ 伊豆半島の海道のあゆみ ⑧ 伊豆半島の海道のあゆみ ⑨ 伊豆半島の海道のあゆみ ⑩ 伊豆半島の海道のあゆみ	7. わたしたちの国 ① 導入 1 国が広がる ② 日本の中の千景 ③ 千景の地形 ④ 土地利用の様子 ⑤ 千景の市やばり ⑥ 交通の広がり ⑦ 千景の主な産業	2 特色ある国と人々のくらし ① 国の人々のくらし ② 特色ある国と人々のくらし ③ 特色ある国と人々のくらし ④ 特色ある国と人々のくらし ⑤ 特色ある国と人々のくらし	3 世界とつながるわたしたちの国 ① 空通がある国 ② 千景と世界のつながり ③ わたしたちの千景	
算数	1. 折れ線グラフと表 * おぼえてあるかな？	① 物の大きさ ② 物の大きさ ③ 物の大きさ ④ 物の大きさ ⑤ 物の大きさ	3. わり算の計算(1) * おぼえてあるかな？ 4. 面積・平行と四角形	* 考えの力をのばそう * そろばん * おぼえてあるかな？	5. 大きい数のしくみ * おぼえてあるかな？	6. わり算の計算(2) * おぼえてあるかな？ 7. がい数の表し方	8. 計算のきまり * おぼえてあるかな？ 9. 面積のはかり方と表し方	10. 小数のしくみ * おぼえてあるかな？ 11. 定わり方調べ * おぼえてあるかな？	12. 小数のかけ算とわり算 * おぼえてあるかな？	* どんな計算になるのかな？ 13. 分数 * おぼえてあるかな？ 14. 四方体と立方体 * おぼえてあるかな？ * 4年のおもしろ * 算数おもしろ旅行のおとずれ	
理科	1 季節と生き物(春) * おぼえてあるかな？	2 天気と気温 * おぼえてあるかな？ 3 電池のはたらき * おぼえてあるかな？	4 どのこめた空気や水 * おぼえてあるかな？ * 季節と生き物(春) * 自由研究	① 月や月影 ② 月の影の色 ③ 月の影の色 ④ 月の影の色 ⑤ 月の影の色	* 季節と生き物(夏) ① わたしたちの体活動 * 季節と生き物(秋)	① 月や月影 ② 月の影の色 ③ 月の影の色 ④ 月の影の色 ⑤ 月の影の色	* わたしたちの理科 ① 月の影の色 ② 月の影の色 ③ 月の影の色 ④ 月の影の色 ⑤ 月の影の色	9 ものあたため方 * おぼえてあるかな？ 10 物の温度と体積 * おぼえてあるかな？	① 月の影の色 ② 月の影の色 ③ 月の影の色 ④ 月の影の色 ⑤ 月の影の色	11 すがたをかえる水 * おぼえてあるかな？ 12 自然の中の水 * おぼえてあるかな？	
体育	鉄棒運動(6) 体ほくしの運動(2)	かけっこ・リレー(4) 遊具運動(7) (運動会ハーフタイム)	ハードル走(6) ポートボール(8)	浮く・泳ぐ運動(12) キックベース(6) 保球(2)	多様な動きをつくる運動(4) マツト運動(6)	マラソン練習(4) 短走練習(4) 跳び箱運動(8)	高跳び(4) 保球(2)	多様な動きをつくる運動(4) ソフトボール(8)	ラインサッカー(8)		
音楽	《にっぽんのうたみんなのうた》	ひびけ歌声	ひょうしと さんりつ	《にっぽんのうたみんなのうた》	はなかつと音色	かけ合いと器楽	《にっぽんのうたみんなのうた》	日本のリズム・世界のリズム	えんそうのくふう	自來のききどころ	風持ちを合わせて
図工	絵の具で遊んで「白分り」がみ	見つけたよ、この色 すてきだね、その色 リズムのって	ギョギョ、コロコロ、の のんきなかま	絵花を見つめて	みんなで、どどん おぼえて、つないで カードを作ろう、形 色	バックパク へんてこ山の物語	みんなで見つけて、 開いてみよう トントンつないで	ハッピーカード	友だち、たくさん集 まると 絵の描りから	ほると出てくる不思議 な花	ゆめいしらんぼ
道徳	しつれいおぼさん エジソンとえいじ	百点を十回とれば なんて百つたらいい のか 母のかわりに	よりよい学年を作ろう ぼくだってオーケー ラ 用のバス停出所 やさんおみだ	わたしの見つけた小 さな世界 いなくなつたライオ ン わたしとお母さんお ぼえやん	小さなみんなたち お母さんおみだ お母さんおみだ お母さんおみだ お母さんおみだ	お母さんおみだ お母さんおみだ お母さんおみだ お母さんおみだ お母さんおみだ	わたしのいもうと 大きなおぼさん 日本のおべん当 日曜日のパーベ キュー	ぼくの部屋 神戸のふつこうは、ぼ くらの手で ふろしき	かべにつけた手のあ と 坂門前の道		

染井野小ビオトープ

制作...平成11年～平成17年
(第1回生～第6回生)

プール横にあるビオトープは、開校当時の6年生によってつくられました。当時、6年生は3クラスあり、各クラスが池や畑の制作を行いました。それと同じ時期につくられたのが第2グラウンドの畑です。

その後数年後、校長先生を中心に在校生達によって、ビオトープのまわりに道をつくる計画が立てられました。木を2列にならべて土にうめこみ、その間にウッドチップをしいて道はつくられました。

ビオトープは数年かけて今みなさんが知っているすかたになりました。



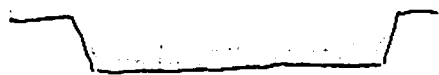
制作のながれ



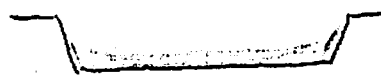
(1) 土に大きなあなをほります



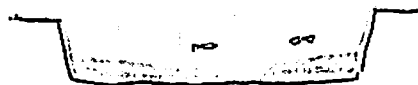
(2) 土の上にビニールシートをしいて、水がもれないようにふせます



(3) 土を入れ、水草を植えます



(4) 水をしずかに入れ、土がしずむまでしばらく待ちます

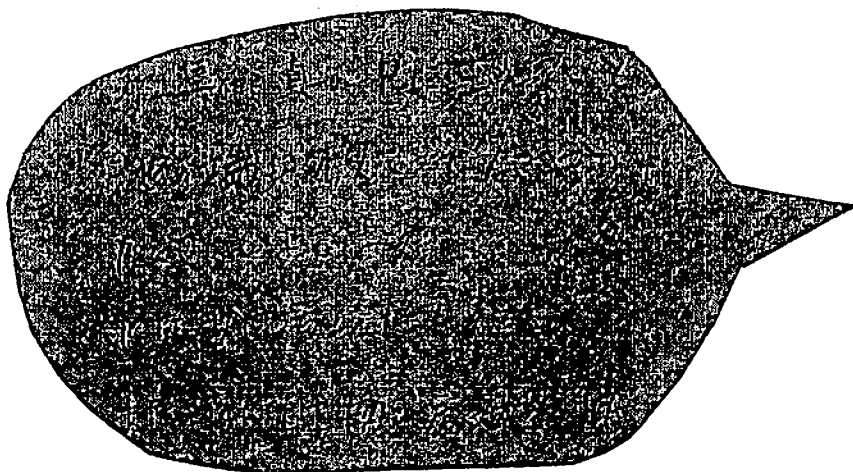


(5) 生き物を入れます

当時を知る そつ業生より



私は、池の横にチップをうめて道を
作りました。完成までの時間はおすれなかったけど
出来た時はとてもうれしくて、
自分たちで作った道を みんなで ならんで
歩いたのを おぼえています。



教育実習生として、母校である梁井野小学校を訪れ、驚いたのは、
校舎がとてもきれいだった事です。グラウンドも、アリーナも中庭もワークス
ペースも教室も、私が通っていた頃と何ひとつ変わっていませんでした。ただ
一か所だけ、当時と変わってしまったところがあります。ビオトープです。水はなく
なり、池が見えなくなるほど草がのびきっているすばたに、そつ業してからの
13年という月日を感じました。

梁井野小学校が開校した時、私は小学3年生でした。開校当時の6年生を
中心に在校生によってこの手作りの池は完成しました。

よく休み時間になると友だちと外に出てビオトープをながめていました。池は
アメンボやヤゴなど生き物のすみかになっていました。雨の日は池に水が
落ちるのを教室からながめ、寒い日の朝は池の近くに出来たしも柱をガク
ガクとふるのが好きでした。1年を通してビオトープは色んなすばたを見せました。

あれから10年以上たってもビオトープの形がのこっているのはすごいことだと思います。
草におおわれ本来のすばたをしていないビオトープをふっ活させようと声かけをして
いる人たちがいると聞きました。私がみなさんと同じ3年生の時代にビオトープに
出会ったように、今年生のみなさんがこうして同じビオトープをおもい、はたらきか
けようとしてくれていることをとてもうれしく思います。

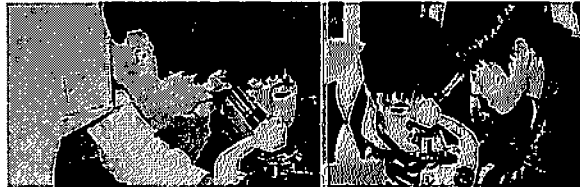
かんきょうを変えるのはむずかしく、当時の生き物はすぐにはもどってこないかもしれ
ませんが、私たちそつ業生がのこしたビオトープを少しづつでも梁井野小学校の池
としてあるべきすばたにもどして行ってほしいです。そして私のふるさとが梁井野小
学校であるように、みなさんの時代もこえて受けつがれるものを大切に
行ってほしいと私は願っています。

私は当時3年生でした。染井野小学校にはいったときピオトープは出来上がっていたけれど、ピオトープとの思い出はたくさんあります。ピオトープの中には生き物がたくさんいました。ある日の理科の時間、先生が「今からピオトープに行くよ」といいました。「ピオトープの中には目に見える生き物だけじゃなくて目に見えない生物も隠れています。今からそれを見よう」そうやってピオトープの水を少しとって顕微鏡で水の中の微生物を覗きました。

掃除の時間は池そうじがありました。道の周りをきれいに掃いたり、ピオトープにある草をとったりしてきれいにしていました。3年生は年に数回クリーン大作戦といって4年生と一緒に町のごみをとって地域をきれいにする活動もしていました。

マラソン大会ではピオトープに続くジグザグの道を走っていた思い出があります。

ピオトープは私の日常に当たり前にあるものだったので今それが失われていると聞いてびっくりしています。復活させることは卒業生からしてとてもうれしいことです。このコメントが皆さんのお役に立てることを願っています。



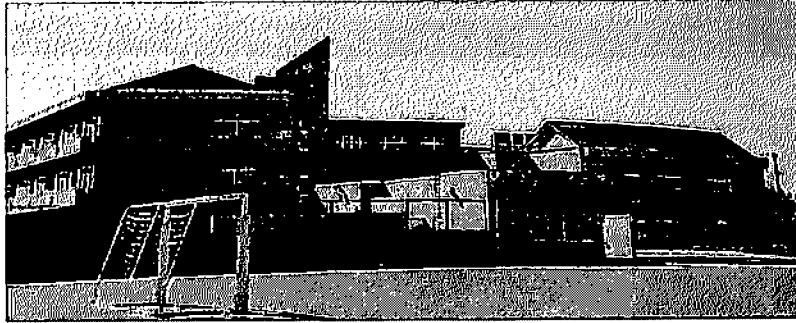
ピオトープの近くにチップを敷いて道を作ったのをよく覚えています。完成したとき、開通式をやってみんなでピオトープのまわりの道をぐるりと歩きました。

体育の授業では道の端と端から中心に向かって歩いて行ってぶつかったらじゃんけんをするというゲームをして楽しみました。ピオトープの隣にはとても大きなケナフの木があって、当時、横に並んで背比べをしました。自分の背とは比べ物にならないくらい大きい木でした。

染井野小学校は豊かな自然に囲まれた素敵な場所だと思います。私はピオトープやケナフなど様々な自然を身近で体験できました。ピオトープ復活をきっかけに4年生のみなさんにも自然を少しでも身近に感じてもらえたらなと思います。染井野小学校といえばピオトープだねと言われるようなだれもが思い出に残るピオトープになったらと思います。



卒業生(教育実習生)田中さんが授業で使ったスライド



4年生では消防署や警察署などを学習し、この町を守っている人たちがいるんだということが分かったかと思います。しかしみなさんにも町を守れることがあるということを知ってほしいです。私たちが残してきたピオトープを通して、自分達でできる小さなことから染井野の街をきれいに、守っていつてくれることを期待しています。



バトンを次へ

1 単元名 それいけ！ぼくらのピオトープ！

2 年間指導計画における本単元の位置付け

総合的な学習の時間	
みんな野草探検隊 (35時間)	それいけ！ぼくらのピオトープ！ (35時間)

3 単元設定の理由

本年度の最初の時間には、前担任松澤による授業を行った。この時間が子ども達の思いを知る前担任と現担任の橋渡しとなり、それ以来本学年の総合的な学習は「わたしたちのふるさと染井野の自然」をテーマに、活動を続けている。児童は前期に、学校周辺の野草観察を通して探究的、協同的な学びを行ってきた。身近な自然環境に触れ、興味をもった野草の名前の由来や特徴を調べたり、野草会の方々を招き簡単な標本の作り方を教えていただいたりした。それを生かし夏休みには標本作りに取り組んだ。前期のまとめの際にはプレゼンテーションソフトにまとめ、発表会を行った。そこでは「今度は見たことのない野草について、調べたい。」「陸の植物を調べたが、今度は水生植物を調べたい。」「ピオトープに生息する野草や植物、生き物について調べてみたい。」などの意見があがった。それを踏まえ、後期に取り組みたいことを話し合ったところ、ピオトープを復活させようということに決まった。

本学級は、男子16名、女子14名、計30名から構成される。昨年度の教育実習生が変わり果てていたピオトープの姿を嘆いていたこともあり、昨年度より有志でピオトープをきれいにしようという活動が始まった。自分たちでポスターを作り学級児童に呼び掛けたり、校長室にお願いに行ったりするなど意欲的な児童もいた。このような経緯から、本年度に入っても子ども達のピオトープへの関心は高く、前期にはピオトープの雑草抜きを学級児童に呼びかけ、休み時間を使い率先して行っていた。

総合的な学習の時間についての事前アンケートでは、ほとんどの児童がパソコンで調べたり外へ行って調べたりすることが好きだと答えている。しかし、話し合いをしたり発信したりすることに対しては好きだと答えた児童は少なかった。活動自体に魅力を感じ、友だちとともに学ぶ楽しさを感じている児童は少ない。協同的な問題解決の様子をみると、意見を言わずに結果だけを享受する児童や何となくみんなに合わせて行動する児童もいる。さらに、協同において重要となる話し方・聞き方については、相手の間に合わせて話したり、場に応じた声の大きさを調節したり、話し手が話しやすいように聞いたりとといったことが苦手な児童が多い。協同の基本となる部分について他教科で学んだことをしっかりと身に付けていきながら、児童が共に学ぶよさや喜びを感じられるようにしたい。

本校のピオトープは、17年前の卒業生によって作られたものである。当初は、様々な生物がにぎわいを見せていたようだが、年月が経過するにつれ、手入れがされず手つかずの状態になっていった。昨年度のNPO印旛沼広域環境研究会による学校訪問では、本校のピオトープについて「昨年度同様に池に全く水はなく、築山のような状態でススキなどの雑草に覆われていたが、そんな中にヒメガモの姿が見られた。」といったあまり好ましくない調査結果が得られた。

これらを踏まえ、身近にあるピオトープについて調べ生物のにぎわいを取り戻す活動を通して、生き物・自然との関わりに気付かせ自然環境を大切にしようとする意欲や態度を育てるとともに、ピオトー

プを作った当時の卒業生の思いやビオトープを維持していくために下学年に引き継ぐことを考える中で、人とのつながりに気付かせ自分たちの活動に自信と誇りを持たせることを目指し、本単元を設定した。生態系がにぎわうビオトープを目指し、児童が自ら課題を見つけ解決に向けて活動する中で、環境を守っているという意識を高めていきたい。また、卒業生が残したものを復活させることで、卒業生の思いを受け継ぎ、維持していくために下学年に発信することで人と人とのつながりを実感させていきたい。

単元の導入では、ビオトープのイメージについて話し合いを行った。ここでは「雑草が多い。」「汚い。」「生き物が住める環境が整っていない。」「よくわからない。」などのマイナスなイメージが多くあがった。そこからビオトープを復活させたいという課題を共有し、学習を進めている。次に千葉県立中央博物館の林さんからビオトープについてご指導いただいた。「生き物のフンなどの有機物がバクテリアに分解されて肥料分になり、その肥料分がアオコのような植物プランクトンや水草に吸収され、植物プランクトンをミジンコなどの動物プランクトンが食べる。さらにそれを生き物が食べる。このようなサイクルが生態系のバランスを保っており、生き物をむやみに入れたりするとそのバランスが崩れてしまう恐れがあるので、生き物が来るのを待つことが大切さだ。」というアドバイスをいただいた。また復活させるためにはまず、雑草の根を抜くことから始めると良いといことを教えていただいた。雑草の根がなくなった後は、印旛沼の植物を持ってきてくださるということで、しばらくは雑草の根を抜く作業を行っている。さらに、卒業生（昨年度の教育実習生）の田中さんからビオトープができたころの話聞いた。「17年前の6年生が新しい学校に何かを残したいということでビオトープ作りが始まったこと。」「スコップを使ってみんなで穴掘りをしたこと。」「ヤゴやめだか、カナダモ、浮草・・・などで生き物がにぎわいを見せていたこと。」などを知ることができた。また、当時を知る卒業生や先生からのコメントを紹介してもらった。「復活させることは卒業生からしてとてもうれしい。」「染井野小といえばビオトープだねと言われるような誰もが思い出に残るビオトープになったらいいと思います。」「私たちが残してきたビオトープを通して、自分達でできる小さなことから染井野の街をきれいに守っていつてくれることを期待しています。」「バトンを次へ引き継いでほしい。」など、温かい言葉をいただき、当時の卒業生や先生方の思いを知ることができた。

これまでの学習で、ある程度ビオトープに対する知識や見方を身に付け、当時の卒業生などの思いを知ることができた。しかし、その中で、生き物を放したり生き物の棲み処を作ったりする学習をイメージしていた児童にとっては、思いにずれが生じ始めている。そこで本来のビオトープの定義とは異なってしまっても、卒業生の思いを受けながらもそこに自分たちの思いをのせ、自分達らしいビオトープを創り上げていくという舵取りが必要になってくる。なお、単元計画については、児童の思考の深まりや広がりに合わせて、体験活動やゲストティーチャーによる指導の機会を増やしていけるように、柔軟なものとした。

単元の内容は、単元を通して理科の「季節と生き物」が関連している。情報の収集に関しては、国語科の「図書館へ行こう 分類をもとに本を見つけよう」が関連している。まとめ・表現の仕方に関しては、国語科の「よりよい話し合いの仕方を考えよう」「課題にそって報告文を書こう」「写真をもとに話そう」「学級新聞を作ろう」「ぶんとんして図かんを作ろう」「話の組み立てを考えて、発表しよう」、算数科の「折れ線グラフと表」が関連している。これら他教科での学びを総合的な学習の時間に活用できることを意識させ、学習を進めていく。

4 単元目標

- ・ピオトープの現状に関心を持ち、自分の課題を設定することができる。 (課題を設定する力)
- ・観察したり調べたりする活動を通して、自分の課題にあった情報を収集し、自分の課題を解決するために計画的に活動を進めることができる。 (問題を解決する力)
- ・友だちと積極的に意見を交換し、異なる視点や考え方から自身の学びを深めることができる。 (主体的・創造的・協同的な態度)
- ・学習を通して、自然環境に関心をもったり、人とのつながりに気付いたりすることができる。
- ・学んだことを振り返りこれからの自身の生活に生かすことができる。 (自己の生き方)

5 仮説について

仮説 探究的な学習の中で、一人一人が主体的に考え、表現し合えるような授業を工夫すれば、教科等の特質に応じた見方や考え方を身に付けたり活用したりことができ、学ぶ喜びが広がるだろう。

これまで、本学年では、年間を通して野草について学習していた。しかし、より子どもたちが自分事として課題を設定できるようにするため、本年度は子どもたちの思いや課題を取り上げ、新たな単元を設定し取り組むことにした。

課題設定の過程では、ピオトープについてKJ法を用いたイメージの共有化と課題の共通認識を行う(課題設定)。千葉県立中央博物館の林さんによるピオトープについての講義と卒業生の田中さんの話を聞く(情報収集)。そこで得た情報を用いてワイチャートを用いて整理・分析し(整理・分析)、個人のテーマを設定する(まとめ・表現)。情報の収集の段階では、個人による活動が中心となる。調べる内容の明確化(課題設定)→情報収集→整理分析→振り返り(まとめ・表現)といった小さなスパイラルを一単位時間の中に組み込む。個人の課題に沿って得た情報について思考ツールを用いて可視化することで、次の情報収集の目的を焦点化したり自分の考えを持って次の集団における整理・分析に臨んだりすることができるようにする。「課題設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という大きなスパイラルの中に、小さなスパイラルを組み込みこんだ単元を構成し、子どもたちが主体的に考えられるようにしたい。整理・分析の際には、同じテーマごとにグループで話し合いを行う。他者との情報を共有し合い、思考ツールを用いて比較したり分類したり関連付けたりし異なる視点や考えに触れる中で、知識や考えが広がっていくことを実感させながら、学び合う喜びを感じられるようにしたい。まとめ・表現の段階では、お世話になった方に調べたことを伝えるための活動を行う。その中で、今後ピオトープを維持していくことが自分たちだけでは不可能なことに子どもたちは気付く。引き継いでいくための下学年への情報発信という必要感が子どもたちのさらなる意欲の向上につながれば、持てる力を出し合って全力で学んだり協力し合って活動し合ったりする子どもたちの姿につながると考える。子どもたちの発信が相手に届いたときに、子どもたちの学ぶ喜びがさらに広がっていくと考える。

本単元において、収集した情報を整理・分析し、課題を多様な方法で捉え解決するための方法として思考ツールを活用し、探究的な学習を深めていくことを目指していきたい。ただし、思考ツールを身に付けたり、使ったりすることに重点を置かないように、使う場面や目的を考えながら活用させていきたい。

6 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
課題を設定する力	・ビオトープの現状に関心を持ち、自分の課題を設定しようとしている。
問題を解決する力	・観察したり調べたりする活動を通して、自分の課題にあった情報を収集し、自分の課題を解決するために計画的に活動を進めている。
主体的・創造的・協同的な態度	・友だちと積極的に意見を交換し、異なる視点や考え方から学びを深めようとしている。
自己の生き方	・学習を通して、自然環境に関心をもったり人とのつながりに気付いたりしている。 ・学んだことを振り返りこれからの自身の生活に生かそうとしている。

7 指導計画（35時間）それいけ！ぼくらのビオトープ！

学習過程 (時間数)	活動内容 ○活動	指導上の留意点 (・指導のポイント 【 】の教科の内容☆評価規準)
課題設定 (8)	<p>○前期までの活動を振り返りながら、後期の学習内容を話し合う。</p> <p>○単元の目標を設定する。 ビオトープ復活！</p> <p>○千葉県立中央博物館の林さんの話を聞き、ビオトープについて知る。</p> <p>○卒業生の田中さんの話を聞き、昔のビオトープについて知る。</p> <p>○理想とするビオトープについて情報を整理する。</p>	<p>・これまでの学習を振り返り、人とのつながりや自然とのつながりを感じさせながら、子ども達の興味のある活動を引き出すようにする。</p> <p>・ビオトープのイメージについて付箋に書き、KJ法を用いながら分類し、課題を明らかにすることで、ビオトープを復活させたいという思いをもてるようにする。</p> <p>・ビオトープについて知ること、理想とするビオトープについての知識をもてるようにする。</p>
本時 (6/8)	<p>○ビオトープについての話をもち、現在のビオトープの課題を明確にし、できることを考える。</p> <p>○自分が調べるテーマを決める。</p> <p>○課題探究の計画をたてる。</p>	<p>・理想とするビオトープについて、KJ法を用いながら情報を整理する。(林さんの話、田中先生の話、自分たちの思い)</p> <p>・理想とするものと現状との違いについて比較させることで、課題を明らかにする。</p> <p>・自分たちにできることを考え、整理分析することで、調べていくテーマを明確にする。</p> <p>・調べる方法についても、詳しく計画を立てるようにする。</p> <p>☆ビオトープの現状に関心を持ち、自分の課題を設定することができる。 ＜課題を設定する力＞</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>理科 「季節と生き物」 国語科 「写真をもとに話そう」 「よりよい話し合いの仕方を考えよう」</p> </div>

<p>情報の収集 (10)</p>	<p>○計画に従って課題についての情報を集める。 ○ビオトープを観察したり、資料やインターネット等で調べる。 【課題例】 ①水生植物について ②危険な動植物について ③植物プランクトンについて ④動物プランクトンについて ⑤生態系について ⑥水の管理について ⑦生き物の棲み処</p>	<p>・自分の課題を探究していくことが、ビオトープの復活につながることを意識しながら活動させることで、目的意識をもたせる。 ・インターネット、図鑑などを利用したり、観察活動を行ったりして課題に沿った情報を集めるようにする。 ・整理・分析する時に活用できるように、調べたことを付箋紙に記録させ用紙に貼り付けたものをファイリングさせる。 ・個人の課題に沿って得た情報について、思考ツールを用いて整理分類しながら計画的に調べさせる。 ・整理・分析の視点や思考ツールを例示し、その良さ気付かせる。 ☆観察したり調べたりする活動を通して、自分の課題にあった情報を収集し、自分の課題を解決するために計画的に活動を進めようとしている。 ＜問題を解決する力＞ 理科 「季節と生き物」 国語科「図書館へ行こう 分類をもとに本を見つめよう」</p>
<p>整理・分析 (4)</p>	<p>○同じ課題ごとのグループに分かれ、自分が調べた情報について思考ツールを用いながら整理する。 ○整理した情報から分かったことをまとめる。</p>	<p>・自分が調べたことと友だちが調べたことについて、思考ツールを用いて視覚化しながら多様な情報を共有し、新たな視点に気付かせる。 ☆友だちと積極的に意見を交換し、異なる視点や考えから学びを深めている。 ＜主体的・創造的・協同的な態度＞ 理科 「季節と生き物」 国語科 「写真をもとに話そう」 「よりよい話し合いの仕方を考えよう」</p>
<p>まとめ・表現 (13)</p>	<p>○同じテーマごとのグループで、調べたことをまとめる。 ○まとめたことを卒業生や下学年に伝える。 ○単元を通じた学習の振り返りをし、今後に生かす。 ・作文 ・お礼の手紙 ・資料の整理</p>	<p>・ビオトープを維持していくためには下学年への情報発信が必要であることに気付かせる。 ・リーフレットや新聞、図鑑、スライドショーなどからより効果的に伝えられる発信方法を選ばせる。 ・受け取り手に伝わるような発信の仕方かどうかを考え、改善を図りながらまとめたり、伝えるための練習を行ったりする。 ・単元の学習を振り返る時間を十分に確保し、自身の成長を実感させるとともに、お世話になった人たちへの感謝の気持ちを高めていけるようにする。 ☆友達と積極的に意見を交換し、異なる視点や考えから学びを深めている。 ＜主体的・創造的・協同的な態度＞ ☆学習を通して、自然環境に関心をもったり人とのつながりに気付いたりしている。 ☆学んだことを振り返り、学んだことを振り返り、こ</p>

		れからの自身の生活に生かしている。 <自己の生き方> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 理科「季節と生き物」 国語科「課題にそって報告文を書こう」 「学級新聞を作ろう」 「ぶんとんして図かんを作ろう」 「話の組み立てを考えて、発表しよう」 算数科「折れ線グラフと表」 </div>
--	--	---

8 本時の指導 (6 / 35)

(1) 目標

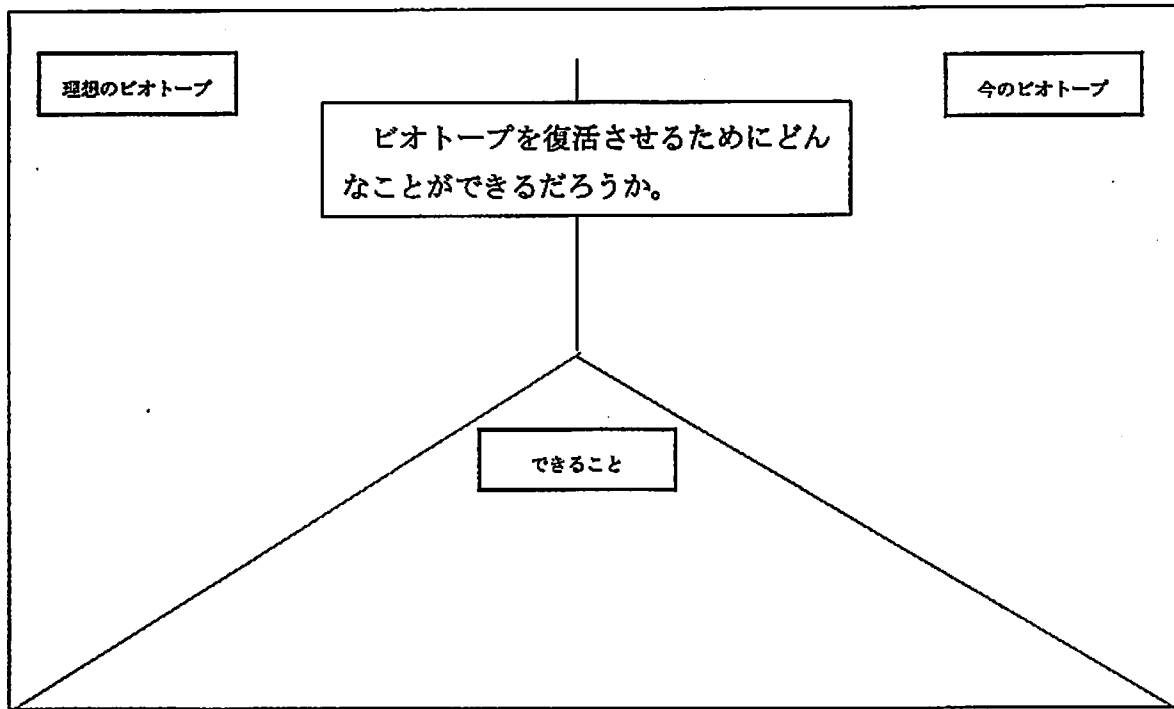
- ・理想とするビオトープと現在のビオトープを比較する活動を通して課題を明確にし、ビオトープを復活させるために自分たちにできることを考えることができる。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ☆評価	資料
1 2	1 これまでの学習を振り、本時のめあてをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を想起させる。 ・ゲストティーチャーから得た理想とするビオトープの情報をKJ法をもとに整理した掲示物を使い現状のビオトープと比較させ、理想と現状のズレを明確にすることで、本時のめあてにつなげていく。 	掲示物
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ビオトープを復活させるためにどんなことができるだろうか。 </div>		
1 3	2 ビオトープを復活させるために自分たちにできることを考える。 <テーマ例> <ol style="list-style-type: none"> ① 水生植物について調べる ② 危険な動植物を調べる ③ 植物プランクトンを調べる ④ 動物プランクトンを調べる ⑤ 生態系について調べる ⑥ 水の管理について調べる ⑦ 生き物の住処について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを付箋紙に書かせ、黒板に張らせる。 ・テーマを考える際には、「ビオトープ復活のカギは〇〇を～すること」のような型を用意するとともに、理想・現状・テーマを関連させて視覚化するためにYチャートを用いる。 ・付箋は、見やすく整理するため、同じ内容のものを近くに貼らせる。 ・考えが書けない児童には、ゲストティーチャーの話を想起させたり、現状を確認したりする言葉かけを行う。 	付箋紙 Yチャート

15	3 ビオトープを復活させるために自分たちにできることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童を前に集め、書かれた内容について、新たに共通点や相違点が見つかった場合には、付箋を操作し分類させる。 ・話し合いを通して、自分たちにできることを明らかにしていけるように、疑問点や可能かどうかといった視点を与え、話し合わせる。 ・考えの根拠を話したり、話の中心に気を付けて聞いたりするなど、話し方、聞き方についても確認しながら話し合わせることで、表現力の向上を図る。 ・発言の中に、卒業生の思いに関するものが出た場合には、立ち止まって考えさせることで、人とのつながりを意識させ、目的意識を高めていく。 	
5	4 本時の振り返りをし、次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに、本時の感想を記録させる。 ・次の時間に自分が調べていくことを今日の学習をもとに決めていくことを話し、次時の見通しを持たせる。 <p>☆理想とするビオトープと現在のビオトープを比較する活動を通して課題を明確にし、ビオトープを復活させるために自分たちにできることを考えている。（話し合い観察・記録分析）</p>	振り返りカード

(3) 板書計画



研究主題

進んで学び考える力を育む総合的な学習の時間の在り方



成田市立加良部小学校

教諭 野崎 雄一

教諭 嶋野 真里

1. 研究主題

進んで学び考える力を育てる総合的な学習の時間の在り方

2. 主題設定の理由

(1) 学習指導要領より

平成32年度から全面実施の次期学習指導要領の方向性が少しずつ明らかになってきている。改訂のポイントとして、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって学び続けるようにするための「主体的・対話的で深い学び」の実現が挙げられており、総合的な学習の時間のさらなる充実が求められている。その一方で、外国語教育やプログラミング教育の充実を図るため、移行期間では総合的な学習の時間が当てられる可能性があることも明らかになった。

このことを受けて、主体的に課題解決と向き合い、様々な対象と深く関わりながら探究活動に取り組んでいくことがより一層重要になると考えた。

(2) 学校教育目標より

本校では、「夢を持ち未来を拓く～確かな学力を身に付け、心豊かで、健康な子ども育てる～」という学校教育目標を掲げている。「夢を持ち未来を拓く」とは、自ら考えて正しく判断し生涯にわたって学び続けることである。これは、知識・技能の習得で終わることなく、それらを生かし自分の生活へと生かそうとする資質・能力を身に付けることである。

そこで、総合的な学習の時間においては、より一層社会と結び付けて考えられるような機会を設定することで、必要な資質・能力を育むことができると考えた。

(3) 地域・職員・児童の実態より

本校は創立45周年を迎える学校である。国際都市成田の中心にあるニュータウンに位置しており、周りは公共施設や商業施設、新興住宅で囲まれている。地域住民は、教育への関心が高く学校行事やPTA活動に対して非常に協力的である。また、本校は元気で活発な児童が多く、休み時間はいつも外遊びをしている様子が見られる。しかし、職員に対するアンケートによると、学習において受身的な態度が見られると感じている。また、新興住宅に位置していることから、地域を教材として取り上げる難しさを感じている職員が多かった。

これらのことから、総合的な学習の時間において、児童が自ら課題を解決しようとするような教材開発に取り組むことで、主体的な探究活動を実現することができると考えた。

(4) 成田市教育施策より

成田市では英語特区として年間70時間の英語科に取り組んでいる。そのため、総合的な学習の時間が年間35時間しか実施できない。そこで、地域の特色を生かしながら活動を精選するとともに、他教科・領域との関連を意識した全体計画を設定することで、主体的な探究活動が実現できると考えた。

3. 研究仮説

身近な対象と繰り返しかわり、他教科・領域とのつながりを意識した探求活動に取り組ませれば、主体的に学びと向き合い、進んで学び考える力が育つだろう。

4. 手立て

手立て① <学校全体の指導体制> (資料編1, 2ページ)

総合的な学習の時間を充実したものにするためには、学校全体の指導体制を整えることが必要であると考えた。そこで、小学校3～6年生において、どのような学習を通して子どもたちの力を育てていくかを共通理解するために全体計画を見直した。そして、本校の児童の実態に応じた育てたい力を明確に示すことで系統的・計画的に指導できると考えた。

本校の総合的な学習の時間で育てたい力は進んで学び考える力である。これは、学校教育目標に位置付けられており、自ら考え正しく判断し、生涯にわたって学び続ける資質や能力とある。そこで、児童の発達段階を考慮し、地域の特色を生かしながら各教科・領域で身に付けた知識・技能を活用できるような探究活動に取り組むことで身に付けさせることができると考えた。

進んで学び考える力 = ①学ぶ力 ②関わる力 ③見つめる力

手立て② <年間テーマの設定>

総合的な学習の時間では、対象と繰り返し関わりながら発展的に取り組めるような学習が行われることが求められている。そのためには、課題を解決したいと実感させるようなテーマを設定することが大切である。しかし、年間時数が限られているため、活動内容についても十分に検討する必要があると考えた。

そこで、年度始めに学年で検討しながら年間のテーマを設定した。これによって、年間を通した学習を見据えながら児童一人一人が探求心をもって活動に取り組むことができると考えた。

学年	平成27年度の内容	平成28年度の内容
3年生	生き物ふしぎ発見 道具ふしぎ発見	生き物ふしぎ発見
4年生	リサイクル大作戦 千葉の偉人を調べよう	リサイクル大作戦
5年生	米を作ろう 日本の伝統文化を調べよう	食食防衛隊
6年生	情報を集めて発信しよう 職業について調べよう	PRIDE of NARITA

手立て③ <他教科・領域のつながりを意識した単元計画> (資料編4～8ページ)

総合的な学習の時間では、各教科等を横断して総合的に知識・技能を活用しながら学習活動を進めていくことが求められている。

そこで、年度始めの学年テーマ設定に加え他教科・領域とのつながりを意識しながら年間指導計画を検討する時間を確保した。総合的な学習の時間に探求したことを国語科の時間で表現する活動に取り組んだり、各教科・領域の学習をもとに総合的な学習の時間で探究したりすることで指導者が意図的・計画的に知識・技能を活用しやすくなると考えた。また、英語特区ならではの課題である年間の指導時数の確保にもつなげることができ、児童にとって時間的なゆとりのある学びが実現できると考えた。



手立て④ <思考ツールの活用>

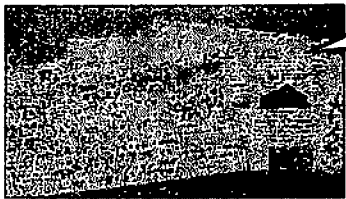
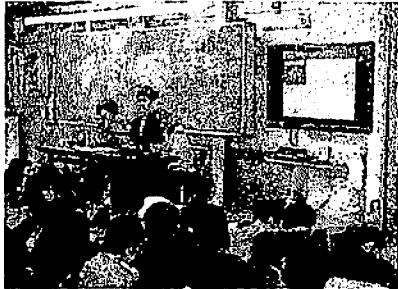

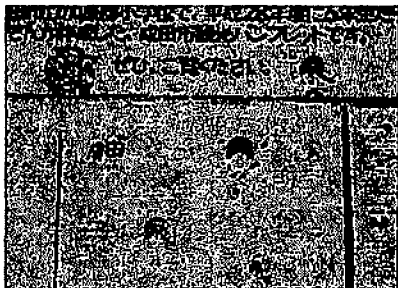
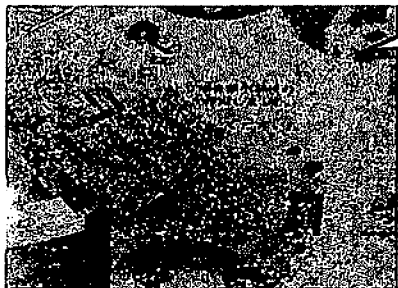
総合的な学習の時間の学習過程において、互いの考えを深め合う場面にとまどっている児童が多く見られる。また、職員もどのように指導したらよいか難しさを感じていることがわかった。

そこで、「思考ツール」を取り上げることで、互いの考えを共有したり整理したりしやすくなると考えた。職員にとっても児童の思考を見取りやすくなるとも考えた。

しかし、児童の発達段階に応じて活用の仕方について考えなければいけないため、「ウェビングマップ」や「Yチャート」「Xチャート」など、いくつかの例示を紹介するにとどめた。

5. 指導の実際

第6学年「PRIDE of NARITA」		全35時間扱い+国語④・英語⑥
<p>【目標】</p> <p><学ぶ力></p> <p>○成田山参道での聞き取り調査を通して、「成田の魅力」に関する課題を設定し、必要な情報を集め、互いの考えを整理・分析したり友達と伝え合ったりしながら課題を解決することができる。</p> <p><学ぶ力-まとめ・表現-></p> <p>○目的や意図に応じて、適切に「成田アピールパンフレット」にまとめることができる。</p> <p><関わる力></p> <p>○課題の解決に向けて、対象と関わったり友達と協力したりして活動することができる。</p> <p><見つめる力></p> <p>○活動全体をふりかえり、今後の学習や生活に生かそうとすることができる。</p>		
単元	題	学習内容
第一次 成田 アピ ール 大作 戦Ⅰ	課題 設定	<p>【学年オリエンテーション】</p>  <p><ウェビングマップを使って成田の魅力について話し合っている様子></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p>成田にはどのような魅力があるのだろうか</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">歴史</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">食べ物</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">行事イベント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">観光スポット</div> </div>
	情報 収集	<p>【課題の解決に向けた情報収集】</p> <p>図書資料（成田図書館の活用）</p> <p>インターネット</p> <p>地元人や観光客への聞き取り調査</p>  <div style="margin-top: 10px;"> <p>英語科との関連 「行ったことはありますか」 2時間</p> <p>英語科との関連 「私のお気に入り」 2時間</p> </div> <p><観光客の外国人に英語でインタビューをしている様子></p>

	整理・分析	<p>【少人数グループによる互いの考えの共有・整理・分析】</p> <p>成田の魅力に関する情報共有</p> <p>※付箋とホワイトボードを活用した話し合い</p>
	まとめ・表現	<p>【学級全体でのまとめ】</p> <p>ホワイトボードを活用した発表</p> <p>↓</p> <p>ふりかえり</p> <p>課題の設定</p>  <p>国語科との関連 「パンフレットをつくろう」 4時間</p>
第二次 成田 アピール 大作戦Ⅱ	課題設定	<p>成田の魅力をどのようにアピールしたらよいだろうか</p> <p>パンフレットの内容</p> <p>パンフレットの設置</p>
	情報収集	<p>【課題の解決に向けた情報収集】</p> <p>図書資料（成田図書館の活用）</p> <p>インターネット</p> <p>専門家への聞き取り調査</p>   <p>＜成田市観光プロモーション課の方の話＞</p>
	整理・分析	<p>【少人数グループによる互いの考えの共有・整理・分析】</p> <p>パンフレットの内容の精選（相手意識）・場所の検討（目的意識）</p> <p>※付箋とホワイトボードを活用した話し合い</p>
	まとめ・表現	<p>【成田アピールパンフレットの作成】</p>  <p>＜成田市観光館への掲示＞</p>  <p>＜成田市役所での掲示＞</p> <p>↓</p> <p>ふりかえり</p> <p>英語科との関連 「日本の文化を紹介しよう」 2時間</p>

6. 授業後の変容・結果 (資料編3ページ)

【児童アンケート】※肯定的回答のみ記載

調査対象 第6学年3組児童 計35名

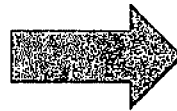
調査方法 紙面アンケート (事前:平成28年5月30日 事後:平成29年3月10日)

	事前	事後
学ぶ力	60%	91%
かかわる力	75%	88%
見つめる力	85%	95%

【児童感想】※抽出児童のみ記載

調査対象 第6学年3組児童 計6名

調査方法 児童ノート



<第一次>

- ・成田山の歴史について調べて成田は古い歴史と新しい文化の両方をもっているすばらしい場所だと思いました。総合の学習では、自分のテーマについて調べていくことが楽しかったです。最後には友達のアドバイスを生かして発表することができてよかったです。(児童S.H)
- ・成田の食べ物と言えばうなぎだと思っていました。でも他にも米や豚肉、さつまいも、落花生、スイカなどが作られていることがわかりました。農家の方々に話を聞いたり、友達と話し合ったりして進められたことがとてもよかったです。(児童H.I)
- ・成田市には私が知らない魅力がたくさんありました。祇園祭やポップランは参加したことがありましたが、他にも、花火大会や産業祭、スポーツフェスティバルなどたくさんの行事がありました。実際に参加した感想を入れてまとめられたらなと思いました。(児童T.Y)

<第二次>

- ・今回の学習では、成田のことをみんなに知ってもらいたくて一生懸命にがんばりました。自分で調べたり友達と協力してまとめたりしてとても成長できたと思いました。これからも成田のよさを伝えたいと思いました。(児童S.F)
- ・大人向けのパンフレットではなく、子どもたちにも手に取ってもらえるようなパンフレットを作れたことがとてもよかったです。何かを伝える時には、誰に見てほしいかや何を見てほしいかを考えて作ることが大切と感じました。(児童Y.M)
- ・ぼくは総合の学習がよくわからなくてあまり好きではありませんでした。でも、総合の学習は自分が調べたいと思うことを調べて、友達に発表したりパンフレットにまとめたりして自分としてはがんばったと思いました。他の勉強でもしっかりとやりたいです。(児童K.S)

成田市には、成田空港や鉄道、高速道路が近くにあってとても便利な場所だと分かりました。今回の活動では、自分のテーマに合った情報を見つけるのに、とても苦労しました。しかし、自分と友達と話し合ったり、友達と協力して調べたりすることで、自分の考えに自信が持てました。成田市には、他にも歴史や食べ物など、多くのよさがあるのだから、みんなにそのよさを伝えてほしいと思いました。

成田アビールパンフレットを作って、成田には、成田山のような歴史の古い場所や、便利な公共施設や商業施設がたくさんある魅力的な場所だということを知りました。私は英語でパンフレットを作りましたが、だれに見てもらいたいかをばきりさせて作る大切だと思いました。これからは成田の行事以外にも、地域の活動にも積極的に参加したいです。

【職員の感想】

調査対象：本校職員（平成28年度在籍）

調査方法：紙面アンケート（平成29年3月10日）

- ・全体計画や身に付けさせたい力を明確にしたことで、指導者が学習の進め方を理解することができた。
- ・年度始めに年間のテーマを設定することで、見通しをもって指導しやすくなり児童の思考が途切れず深まりが見られた。
- ・どの学年でも、総合的な学習の時間の活動をもとに国語科で表現する活動に取り組んだ。課題の解決に向けて主体的に活動したことで、表現する活動にも意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・他教科・領域とのつながりを意識した単元を計画したことで、これまでよりも時間的なゆとりをもって指導することができた。

7. 成果（○）と課題（●）

- 総合的な学習の時間における全体計画や育てたい力を示したことで、指導者が明確な意図をもち指導することができた。また、年間のテーマを設定することで、児童の意識にも変容が見られたことから、進んで学び考える力を育むことができた。
- 各教科・領域（主として国語科）とのつながりを意識できるような単元を計画したことで、様々な学習で児童が主体的に活動する姿が見られた。また、年間を通して指導していく際、時間的なゆとりが生まれて無理のない計画で進めることができた。
- 本研究を進めるに当たって校内体制を整えることができたため、今後の総合的な学習の時間への指導が取り組みやすくなった。
- 年間のテーマを設定し、他教科・領域とのつながりを意識した単元を計画したが、教師主導で進めてしまった所があった。児童一人一人に切実感をもたせられるように適宜反省を生かしながら年間の活動を見直して進めていきたい。
- 年間35時間という中での取り組みだったが、今後も児童にとって有効な時数の確保についても考えていきたい。
- 今回は学級単位の変容で終わってしまったが、今後は学校全体としてどのように取り組んでいくべきか考えていきたい。

第67次印旛地区教育研究集会 総合的な学習研究部

資料編

進んで学び考える力を育てる総合的な学習の時間の在り方

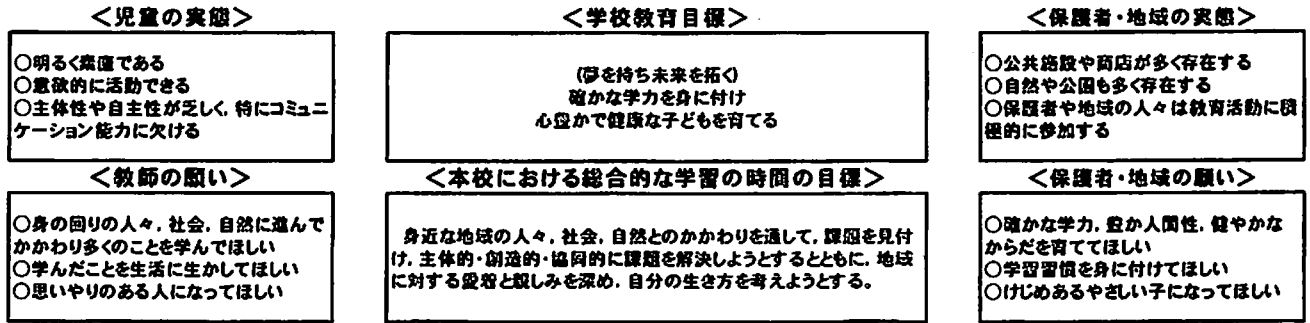
成田市立加良部小学校

教諭 野崎 雄一

教諭 嶋野 真里

平成29年度 総合的な学習の時間 全体計画

成田市立加良部小学校



<各学年で育てたい資質・能力及び態度>		<各学年の内容>																
	3・4年生	5・6年生																
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○対象との体感的なかわりを通して課題を設定する ○解決の見通しをもって計画を立てる ○相手や目的に応じて工夫して表現する ○学んだことを生活の中で意欲的に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ○対象との認知的なかわりを通して課題を設定する ○解決の方法や手順を考えて計画を立てる ○相手や目的に応じて効果的に表現する ○学んだことを生活の中で積極的に生かす 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>学習対象</th> <th>学習事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年生</td> <td>自然</td> <td>生き物ふしぎ発見</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>環境</td> <td>リサイクル大作戦</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>食文化</td> <td>食食防衛隊</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>伝統・文化</td> <td>PRIDE of NARITA</td> </tr> </tbody> </table>	領域	学習対象	学習事項	3年生	自然	生き物ふしぎ発見	4年生	環境	リサイクル大作戦	5年生	食文化	食食防衛隊	6年生	伝統・文化	PRIDE of NARITA
領域	学習対象	学習事項																
3年生	自然	生き物ふしぎ発見																
4年生	環境	リサイクル大作戦																
5年生	食文化	食食防衛隊																
6年生	伝統・文化	PRIDE of NARITA																
自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の行為について意志決定する ○目標を設定して、課題の解決に向けて行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活の在り方を見直し、よりよい行為を考へて実践する ○自分の成長をふりかえり、自己を高めようとする 																
他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる意見や他者の考へがあることを認める ○自分の地域とのつながりに気づき、地域と進んでかかわる 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な考へを認めながら協力して課題を解決する ○自分と地域のかかわり考へながら、地域の活動に参加する 																

<学習活動>	<指導方法>	<指導体制>	<学習評価>
<ul style="list-style-type: none"> ○単元は学年で開発し、展開に応じて学習形態を工夫する。 ○学年ごとに1年間1テーマでの取り組みを基本とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探求的な学習の連続性を意識し、学び合いの充実を図る。 ○各教科・領域との関連を図った指導の工夫に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員による指導・支援体制の確立と連携調整に努める。 ○地域の人材を効果的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人内評価を重視し、指導と評価の一体化に努める。 ○ポートフォリオを作成し、評価の充実を図る。

<各教科・領域と関連する主な資質・能力>					
国語科	社会科	算数科	理科	生活科	道徳
<ul style="list-style-type: none"> ○相手、目的、場面などに応じて適切に話したり書いたりする力 ○読んだり聞いたりして正確に理解する力 ○言葉を手掛かりとしながら論理的に思考する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域を観察、調査する力 ○地図や統計などの資料を活用する力 ○社会的事象を関連付けたり比較したり考へる力 ○調べたことや考へたことを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○数、式、図、表、グラフなどを用いる力 ○数量や図形の意味をとらえる力 ○見直しをもって筋道を立てて考へたり表現したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然に親しみ問題を見出す力 ○見直しをもって観察・実験する力 ○事象・現象を比較したり関連付けたりして調べる力 ○観察・実験の結果を整理し科学的に考へる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人々、社会、自然とかわる力 ○自分自身や自分の生活について新たな気づきを促す力 ○生活上必要な習慣や技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやり ○協力し助け合う心 ○感謝 ○進んで活動する心 ○責任感 ○奉仕の心 ○礼儀
音楽科	図画工作科	家庭科	体育科	英語	特別活動
<ul style="list-style-type: none"> ○音楽によって表わされる感性や情緒 ○感じたことを声や楽器で表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○図画工作科で表わされる感性や情緒 ○つくりだす喜び ○形や色、材料などから発想する力 ○材料や用具を用いる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ○家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で安全な生活を営む実践力 ○楽しく明るい生活を営もうとする態度 ○たくましい心身 	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる言語や文化を理解する力 ○積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の役割や責任を果たす態度 ○多様な他者と互いのよさを認め合って協力の態度 ○目標の達成を目指す実践的な態度

平成29年度 総合的な学習の時間経営案

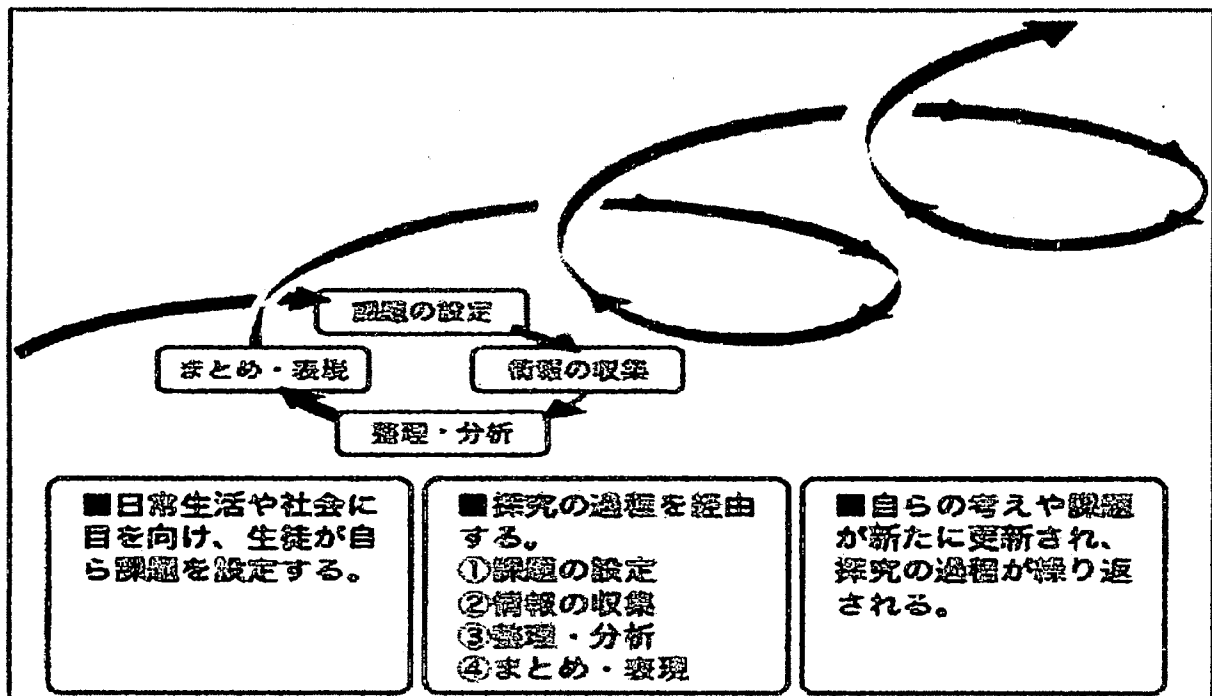
成田市立加良部小学校

1 教科目標

- 身近な地域の人々，社会，自然とのかかわりを通し，課題を見付け，主体的・創造的・協同的に課題を解決しようとするとともに，地域に対する愛着と親しみを深め，自分の生き方を考えようとする。

2 学習過程

探究的な学習における生徒の学習の姿



3 重点指導項目

- 主体的に学習に取り組めるようにする。
- 学習の進め方が理解できるようにする。

4 主な手立て

- 一年間を見通した単元計画を作成する。
- 必要感・切実感をもたせるような導入を工夫して実施する。

5 共通理解事項

- 探求的な学習を実施する。
※宿泊学習・校外学習の準備等は総合的な学習の時間ではない！！
- 他教科との関連を意識して単元計画を作成する。
- 外部人材等を活用する際は「外部機関リスト」として保管する。

総合的な学習の時間「身につけたい力」

身につけたい力		具体的な資質
学 ぶ 力	課題設定	生活や学習から課題を設定する。
		物事を比較して課題を設定する。
	情報収集	目的に合った情報を工夫して集める。
		様々なツールを使って情報を集める。
	思考・判断	多様な情報の中から特徴を見つける。
		比較したり結び付けたりして考える。
	まとめ・表現	自分の意見や考えを工夫してまとめる。
		自分の意見や考えを相手に伝える。
関 わ る 力	他者理解	いろいろな考えがあることを認める。
		相手の気持ちを考える。
	協同	友達と協力して活動する。
		友達と話し合って意見をまとめる。
	社会参画	社会(地域)のことに興味・関心をもつ。
		学習したことをもとに社会(地域)に生かす。
見 つ め る 力	関心・意欲	活動の対象に興味・関心をもつ。
		自分が考えた方法で意欲的に活動する。
	ふりかえり	自分の活動をふりかえる。
		成果や課題をもとに活動につなげる。
	生き方	活動内容と自分の生活との関わりに気付く。
		活動内容を自分の生活に生かす。

児童アンケート

質問項目	回答	事前(名)	事後(名)
1. 総合的な学習の時間は好きですか。	好き	10	15
	どちらかという好き	15	20
	どちらかという嫌い	8	0
	嫌い	2	0
2. 自分で課題を決めることはできますか。	できる	12	20
	どちらかというできる	10	14
	どちらかというできない	11	1
	できない	2	0
3. 必要な情報を集めることができますか。	できる	14	18
	どちらかというできる	12	16
	どちらかというできない	7	1
	できない	2	0
4. 調べたことを整理することはできますか。	できる	6	6
	どちらかというできる	10	14
	どちらかというできない	15	15
	できない	4	0
5. 調べたことをわかりやすくまとめたり伝えたりすることはできますか。	できる	4	8
	どちらかというできる	12	23
	どちらかというできない	11	4
	できない	8	0
6. 相手の考えや気持ちを考えながら活動できますか。	できる	10	10
	どちらかというできる	13	17
	どちらかというできない	12	8
	できない	0	0
7. 地域の人々に関わったり友達と協力したりして活動できますか。	できる	18	22
	どちらかというできる	12	13
	どちらかというできない	5	0
	できない	0	0
8. 相手の考えや気持ちを考えながら活動できますか。	できる	18	22
	どちらかというできる	12	13
	どちらかというできない	5	0
	できない	0	0
9. 自分から進んで活動できますか。	できる	20	26
	どちらかというできる	10	6
	どちらかというできない	5	3
	できない	0	0
10. 学習したことを次の学習に生かすことができますか。	できる	18	22
	どちらかというできる	12	13
	どちらかというできない	5	0
	できない	0	0

生きものふしぎ発見

成田市立加良部小学校 第3学年

単元全体の指導計画(35時間扱い+12時間)

学習活動のねらい	学習活動	構成のポイント
<p><学校にいる生きもの> (2時間+理②学②)</p> <p>・学校にいる生きもの調べをもとに今後の活動への意欲をもつ。</p>	<p><学校にはどんな生きものがある?></p> <p>学校にいる生きものを観察しよう (生きもの探し・異学年交流)</p>	<p>・生きもの探しを通して「生きものふしぎ発見」の活動に対する切実感をもたせる。</p>
<p><生きものふしぎ発見Ⅰ> (13時間+国⑥理②)</p> <p>・生きもの探しを想起させ、「生きものふしぎ発見」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・生きもの発見カードを作成する。 ・生きもの発見カードをもとに自分の考えを発表する。 ・中間報告会を行い、友達の活動を認めながら学習をふりかえる。</p>	<p>学校にいる生きものについて話し合おう</p> <p><生きものふしぎ発見Ⅰ></p> <p>学校にはどんな生きものがあるのだろうか</p> <p>動物 植物 季節 生息条件</p> <p>生きもの発見カード</p> <p>中間報告会をしよう</p>	<p>・生きもの探しで見つけたことを話し合うことで課題を設定しやすいようにする。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすいようにする。 ・調べたことを生きもの発見カードにまとめることで、自分の考えが整理しやすいようにする。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりさせることで、今後の学習に対する課題をつかませやすいようにする。</p>
<p><生きものふしぎ発見Ⅱ> (20時間)</p> <p>・作成した生きもの発見カードをもとに話し合い、「生きものふしぎ発見Ⅱ」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・生きもの図鑑、生きものMAPを作成する。 ・生きもの図鑑、生きものMAPをもとに自分の考えを発表する。 ・2年生への引き継ぎを行い、次年度以降も継続できるようにする。 ・活動報告会を行い、友達の活動を認めながら学習をふりかえる。</p>	<p>生きもの紹介の仕方について話し合おう</p> <p><生きものふしぎ発見Ⅱ></p> <p>生きもの大切さはどのように伝えたらよいだろうか</p> <p>生きもの図鑑 生きものMAP</p> <p>自分たちにどんなことができるのだろうか</p> <p>2年生への引き継ぎ カブトムシ小屋・キャベツ畑</p> <p>活動報告会をしよう</p>	<p>・「生きものふしぎ発見Ⅰ」をふりかえり、「生きものふしぎ発見Ⅱ」の活動に対する切実感をもたせる。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすいようにする。 ・調べたことを生きもの図鑑や生きものMAPにまとめることで、自分の考えが整理しやすいようにする。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりさせることで、自分がどんなことができるようになったか、今後どのような活動が必要かをつかませやすいようにする。</p>

リサイクル大作戦

成田市立加良部小学校 第4学年

単元全体の指導計画(35時間扱い+12時間)

学習活動のねらい	学習活動	構成のポイント
<p><学校のごみの行方> (2時間+社②学②)</p> <p>・リサイクルプラザの見学をもとに今後の活動への意欲をもつ。</p>	<p><学校のごみはどこに行く?></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>学校のごみの行方を調べよう (リサイクルプラザの見学)</p> </div>	<p>・リサイクルプラザの見学を通して「リサイクル大作戦」の活動に対する切実感をもたせる。</p>
<p><リサイクル大作戦Ⅰ> (13時間+国⑥社②)</p> <p>・リサイクルプラザの見学を想起させ、「リサイクル大作戦」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・リサイクル新聞を作成する。 ・リサイクル新聞をもとに自分の考えを発表する。 ・中間報告会を行い、友達活動を認めながら学習をふりかえる。</p>	<p>学校のごみの行方について話し合おう</p> <p><リサイクル大作戦Ⅰ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学校のごみはどのようにリサイクルされるのだろうか</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ペットボトル</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ビン・カン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">紙</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3R</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>リサイクル新聞</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>中間報告会をしよう</p> </div>	<p>・リサイクルプラザの見学で見つけたことを話し合うことで課題を設定しやすくする。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすくする。 ・調べたことをリサイクル新聞にまとめることで、自分の考えが整理しやすくする。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりをさせることで、今後の学習に対する課題をつかませやすくする。</p>
<p><リサイクル大作戦Ⅱ> (20時間)</p> <p>・作成したリサイクル新聞をもとに話し合い、「リサイクル大作戦Ⅱ」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・リサイクルポスター、リサイクルリーフレットを作成する。 ・リサイクルポスター、リサイクルリーフレットをもとに自分の考えを発表する。 ・3年生への引き継ぎを行い、次年度以降も継続できるようにする。 ・活動報告会を行い、友達活動を認めながら学習をふりかえる。</p>	<p>リサイクル活動の紹介の仕方について話し合おう</p> <p><リサイクル大作戦Ⅱ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>リサイクル活動の大切はどのように伝えたらよいだろうか</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リサイクルポスター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リサイクルリーフレット</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>自分たちにどんなことができるだろうか</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3年生への引き継ぎ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リサイクル活動</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>活動報告会をしよう</p> </div>	<p>・「リサイクル大作戦Ⅰ」をふりかえり、「リサイクル大作戦Ⅱ」の活動に対する切実感をもたせる。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすくする。 ・調べたことをリサイクルポスターやリサイクルリーフレットにまとめることで、自分の考えが整理しやすくする。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりをさせることで、自分がどんなことができるようになったか、今後どのような活動が必要かをつかませやすくする。</p>

食食防衛隊

成田市立加良部小学校 第5学年

単元全体の指導計画(35時間扱い+8時間)

学習活動のねらい	学習活動	構成のポイント
<p><給食の現状> (2時間+学①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残食量調査をもとに今後の活動への意欲をもつ。 	<p><給食の残食はどれくらい?></p> <p>給食について話し合おう</p> <p>残食量調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残食量調査を通して「給食アピール大作戦」の活動への切実感をもたせる。
<p><給食アピール大作戦Ⅰ> (13時間+国④社②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残食量調査を想起させ、「給食アピール大作戦」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・給食しようかいポスターを作成する。 ・給食しようかいポスターをもとに自分の考えを発表する。 ・中間報告会を行い、友達活動を認めながら学習をふりかえる。 	<p>給食の残食について話し合おう</p> <p><給食アピール大作戦Ⅰ></p> <p>給食にはどんなひみつがあるのだろうか</p> <p>栄養面 生産者の思いや願い センターの方の思いや願い 食品ロス</p> <p>給食しようかいポスター</p> <p>中間報告会をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残食量調査で見たことを友達と話し合うことで課題を設定しやすくなる。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすくなる。 ・調べたことを給食しようかいポスターにまとめることで、自分の考えが整理しやすくなる。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりさせることで、今後の学習に対する課題をつかませやすくなる。
<p><給食アピール大作戦Ⅱ> (20時間+学①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した給食しようかいポスターをもとに話し合い、「給食アピール大作戦Ⅱ」について自分の課題を設定する。 ・課題の解決に向けた計画を立てる。 ・自分に必要な情報を集め、友達と話し合いながら整理・分析をする。 ・新聞、ポスター、リーフレット、放送原稿を作成して、自分の考えを発表する。 ・4年生への引き継ぎを行い、次年度以降も継続できるようにする。 ・活動報告会を行い、友達活動を認めながら学習をふりかえる。 	<p>栄養士や調理員の方の思いや願いを聞こう</p> <p><給食アピール大作戦Ⅱ></p> <p>給食の大切さはどのように伝えたらよいのだろうか</p> <p>新聞 ポスター リーフレット 放送</p> <p>意識調査</p> <p>4年生への引き継ぎ</p> <p>活動報告会をしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「給食アピール大作戦Ⅰ」をふりかえり、「給食アピール大作戦Ⅱ」の活動に対する切実感をもたせる。 ・課題の解決に向けて必要な資料などを紹介することで、自ら探究できるよう支援する。 ・思考ツールを活用することで、互いの考えを共有・整理・分析しやすくなる。 ・調べたことを新聞、ポスター、リーフレット、放送原稿にまとめることで、自分の考えが整理しやすくなる。 ・全体で情報を共有し、ふりかえりさせることで、自分がどんなことができるようになったか、今後どのような活動が必要かを確かめやすくなる。

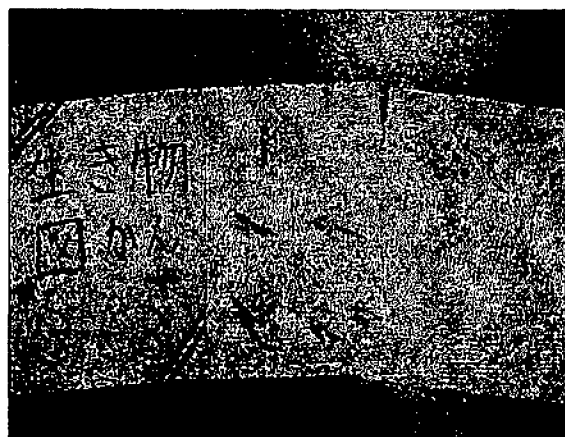
他学年の実践

(1) 第3学年の実践「生き物ふしぎ発見」(国語科⑥・理科④・学級活動②)

第3学年では国語科や理科と関連させて単元を計画した。課題設定の場面では、理科「自然の観察をしよう」をきっかけとして児童一人一人に課題を設定させた。その際、異学年交流の活動として4年生とかかわりながら活動に取り組ませたことで、児童はとても意欲的に生き物探しをする姿がたくさん見られた。また、この活動を通して調べたり見つけたりしたことを、国語科「発見ノート」に書き溜め、「生き物の特長を比べて書こう」や「はっとしたことを詩に書こう」の学習において体験をまとめる活動に取り組んだ。課題の解決に向け探求したことで児童は文章表現する活動にも主体的に取り組むことができた。



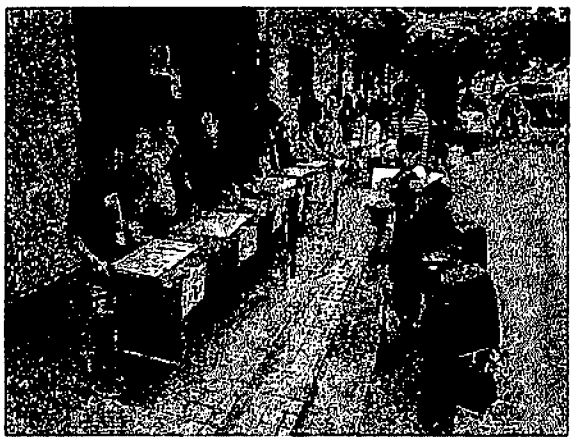
<校内の昆虫や植物を観察している様子>



<調べてわかったことを図鑑にまとめたもの>

(2) 第4学年の実践「リサイクル大作戦」(国語科⑥・社会科②・学級活動②)

第4学年では、国語科や社会科と関連させ単元を計画した。社会科「ごみの処理と利用」の学習をきっかけとして児童一人一人に課題を設定させた。また、この活動を通して調べたことを、国語科「学級新聞を作ろう」において新聞にまとめる活動にも取り組んだ。さらに、単元の最後には、社会科の学習を通して学んだことを生かしながら自分にできることを熱心に話し合い、「リサイクルリーフレット」を作成した。年間を通して資源回収の活動に取り組んだことで、リーフレットづくりにも一生懸命に取り組むことができた。



<リサイクル活動に取り組んでいる様子>



<リーフレットづくりに取り組んでいる様子>

(3) 第5学年の実践「食食防衛隊」(国語科④・社会科②・学級活動②)

第5学年では、国語科や社会科と関連させ単元を計画した。給食の残食量が多いことをきっかけとして食食防衛隊の活動をスタートさせた。社会科「くらしを支える食料生産」「これからの食料生産とわたしたち」と関連させて調べたり、学校栄養士や調理員の話の聞いたりしながら探求活動に取り組んだ。自分たちが調べたことを、国語科「しょうかいポスターをつくらう」においてポスターにまとめ、他学年や先生方に向けて発表する活動にも取り組んだ。さらに、単元の最後には、国語科「活動したことを報告しよう」において、食食防衛隊として活動した1年間の内容を4年生に向けて作成し、引き継ぎを行った。



<課題について付箋を使って話し合う様子>



<ポスターを使って発表している様子>



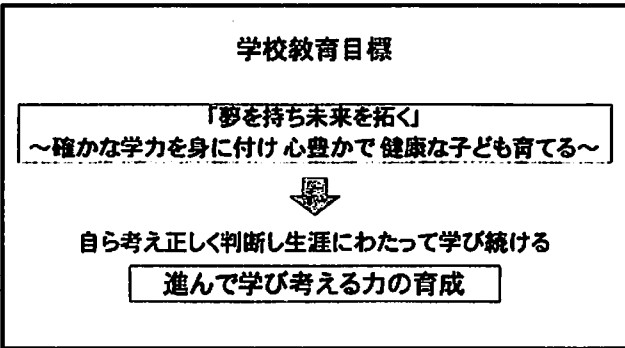
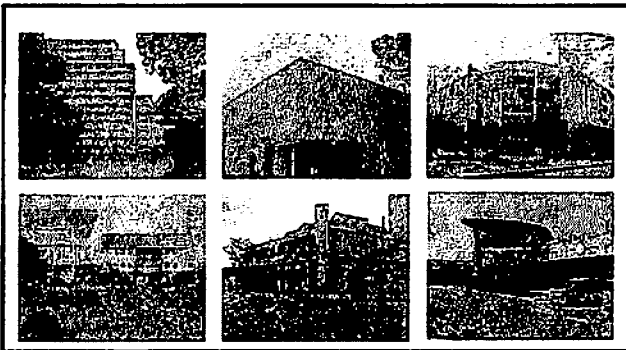
学校紹介

- ・創立44周年
- ・成田ニュータウンの中心部
- ・古くから住んでいる住民が減ってきている
- ・新しく移り住んできた住民が増えている
- ・教育に対する関心が高い
- ・PTA活動に対して協力的である

学校紹介

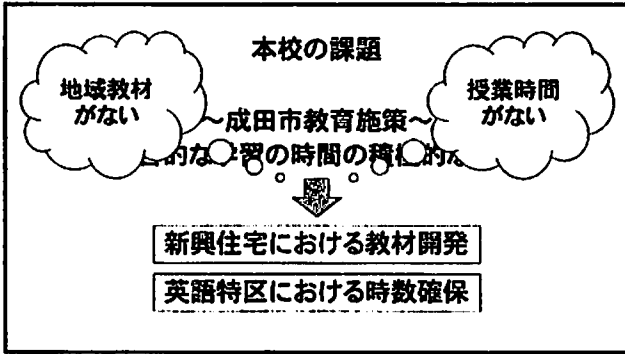
【体育科】(継続研究)
「運動の楽しさや喜びを味わい、
進んで運動に取り組む子の育成」

【社会科・生活科】(H28～H30)
「主体的に社会とかかわろうとする児童の育成」



研究主題

進んで学び考える力を育てる総合的な学習の時間の在り方




英語特区

- ・新
- ・市
- ・外
- ・英




配置
計画の

英語特区



英語科
+35時間



生活・総合
-35時間

研究仮説

身近な対象と繰り返しかわり、他教科・領域とのつながりを意識した探究活動に取り組ませれば、主体的に学びと向き合い、進んで学ぶ力が育つだろう。

手立て① 全体計画の作成

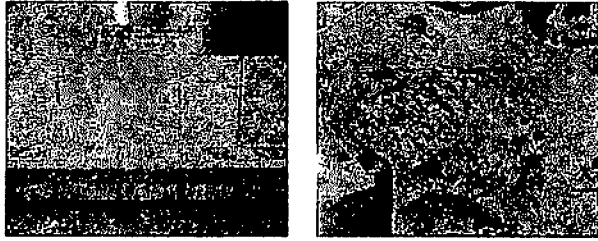
学年	英語科	
	教科	領域
1年	英語科	英語科
	生活・総合	生活・総合
	英語科	英語科
2年	英語科	英語科
	生活・総合	生活・総合
	英語科	英語科
3年	英語科	英語科
	生活・総合	生活・総合
	英語科	英語科

手立て② 年間テーマの設定

平成20年度 総合的な学習の時間 年間指導計画一覧表

単元	月											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1年	1年 総合的な学習の時間 (200時間)											
2年	2年 総合的な学習の時間 (200時間)											
3年	3年 総合的な学習の時間 (200時間)											
4年	4年 総合的な学習の時間 (200時間)											

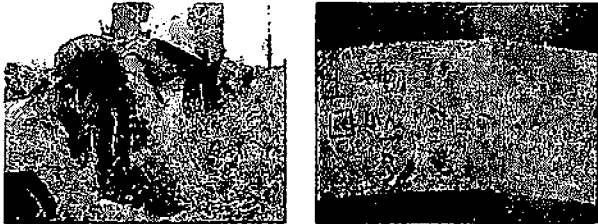
指導の実際 6年生「PRIDE of NARITA」第二次



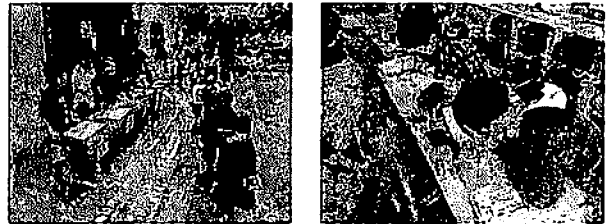
指導の実際 6年生「PRIDE of NARITA」第二次
【児童の感想】

成田アヒールパンフレットをいって、成田には成田山のような歴史のある場所や、便利な公共施設や商業施設がはさまっている魅力的な場所だといふことがわかりました。私は成田でアヒールパンフレットを作ることができてうれしかったです。これからも成田の魅力を積極的に発信していきます。

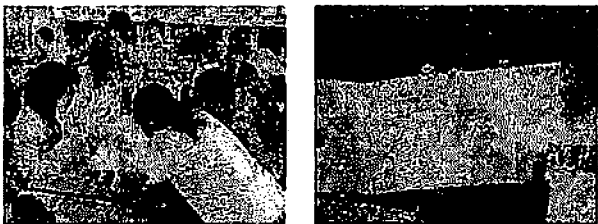
他学年の実践 3年生「生きものふしぎ発見」



他学年の実践 4年生「リサイクル大作戦」



他学年の実践 5年生「食食防衛隊」



児童アンケート

調査対象 第6学年3組児童 計35名
実施期間 前期アンケート(実施:平成28年5月30日 事後:平成29年3月10日)

	事前	事後
学ぶ力	60%	91%
かかわる力	75%	88%
見つめる力	85%	95%

児童の感想

調査対象 第6学年3組児童 計6名
調査方法 児童ノート

<第一次>

- ・成田山の歴史について調べて成田は古い歴史と深い文化の両方をもっている素晴らしい場所だと思いました。総合学習では、自分のテーマについて調べていくことが楽しかったです。最後には友達のアドバイスを生かして発表することができてよかったです。(児童5M)
- ・成田の食べ物と習い事は楽しかったです。でも他にも米や稲刈、さつまいも、落花生、スイカなどが作られていることがわかりました。家族の方々に話を聞いたりと友達と話し合った机ながら楽しめたことがとてもよかったです。(児童4H)
- ・成田市には私には知らない魅力がたくさんありました。恒例行事やイベントに参加したことがありましたが、他にも、花火大会や音楽祭、スポーツフェスティバルなどたくさん行事がありました。実際に参加した体験の感想を入れてまとめられたらなと思いました。(児童TV)

児童の感想

調査対象 第6学年3組児童 計6名
調査方法 児童ノート

<第二次>

- ・この学習では、成田のことをみんなに知ってもらいたくて一生懸命にがんばりました。自分で調べたり友達と協力してまとめたりして発表できたこととても思いました。これからも成田のよさを伝えたいと思いました。(児童3F)
- ・大人向けのパンフレットではなく子どもたちにも手に取ってもらえるようなパンフレットを作れたことがとてもよかったです。何かを伝える時には、誰に見てほしいかや何を覚えてほしいかを考えて作る大切だと感じました。(児童Y4)
- ・ぼくは総合学習がよむからなくてあまり好きではありませんでした。でも、総合では自分が調べたいと思うことを調べて、友達に発表したパンフレットにまとめたりして自分としてはがんばったと思いました。他の勉強でもしっかりとやりたいです。(児童K3)

教師の感想

調査対象 本校職員(平成28年度在職)
調査方法 匿名アンケート(平成29年3月10日)

- ・全体計画や月に付けさせたい力を明確にしたことで、指導者が学習の進め方を理解することができた。
- ・年度始めに年間のテーマを設定することで、見直しをもって指導しやすくなり児童の思考が深められやすくなった。
- ・どの学年でも、総合的な学習の時間の活動をもとに国語科で表現する活動に取り組んだ。課題の解決に向けて主体的に活動したことで、表現する活動にも意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・他教科・領域とのつながりを意識しながら単元を計画したことで、これまでよりも時間的なゆとりをもって指導することができた。

成果(○)と課題(●)

- 総合的な学習の時間における全体計画や育てたい力を示したことで、指導者が明確な意図をもち指導することができた。また、年間テーマを設定することで、児童の意識に変容が見られたことから進んで学び考える力を育むことができた。
- 各教科・領域(主として国語科)とのつながりを意識できるような単元を計画したことで、様々な学習で児童が主体的に学ぶ姿が見られた。また、年間を通して指導していく際、時間的なゆとりが生まれて無理のない計画で進めることができた。
- 本研究を進めるに当たって校内体制を整えることができたため、今後の総合的な学習の時間への指導が取り組みやすくなった。

成果(○)と課題(●)

- 年間のテーマを設定し、他教科・領域とのつながりを意識した単元を計画したが、教師主導で進めてしまう所があった。児童一人一人に充実感をもたせられるよう適宜反省を生かしながら年間の活動を見直し進めていきたい。
- 年間35時間という中での取り組みだったが、さらに効果的な時数の確保についても考えていきたい。
- 今回は主に学級単位の取り組みになってしまったが、今後は学校全体としてどのように取り組んでいくべきか考えていきたい。

